

令和4年度

一般選抜学生募集要項

(インターネットにより出願受付)



令和3年10月



静岡 大 学

＜新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について＞

新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することもあります。変更する場合には、本学学部入試ウェブサイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>) に掲載しますので、ご確認ください。

出願準備から受験までの流れ

- ① 入試日程・出願手順を確認する。
↓
- ② 出願書類を準備する。
 - 高等学校に調査書を依頼する。
 - その他、必要な書類を用意する。↓
- ③ 静岡大学インターネット出願サイトにアクセスする。
(下記URL参照)
↓
- ④ インターネット出願サイトにて必要事項を入力する。
↓
- ⑤ 検定料等を納入する。(クレジットカード決済・コンビニ決済)
※検定料 17,000円(要別途手数料)
※入試情報開示手数料 600円(希望者のみ)
◎ 納入後の入学検定料等は、77ページの「検定料等の返還等について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
↓
- ⑥ 検定料の納入後に出力可能となる書類(出願確認票、受験票送付用封筒宛名ラベル及び出願封筒用宛名ラベル)を出力する。
↓
- ⑦ 出願確認票の記載内容を確認する。
↓
- ⑧ 出願封筒用宛名ラベルの内容を確認し、市販の角形2号の封筒に貼付のうえ、出願期間内に必着するように出願書類を郵送する。
(注:消印有効ではありません)
↓
- ⑨ 大学からの受験票・写真票を郵送にて受領する。
↓
- ⑩ 写真票(写真を貼付)を試験当日に持参し、受験する。

※ インターネットでの登録だけでは出願は完了しません。必ず出願書類を出願期間内に必着するように送付してください。

【インターネット出願サイト】

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/entry/index.html>



インターネットによる出願のできない志願者は、出願開始前日までに入試課までご連絡ください。

目 次

I はじめに	2ページ
☆ 静岡大学の「アドミッション・ポリシー（求める学生像）」	
☆ 入学試験の概要	
☆ 学部等の所在地	
II 募集人員	7ページ
III 出願資格及び出願要件	8ページ
IV 障害等のある入学志願者への受験上の配慮	11ページ
V 選抜方法等	12ページ
1 前期日程	
人文社会科学部：13～16ページ， 教育学部：17～21ページ， 情報学部：22～24ページ， 理学部：25～30ページ， 工学部：31～35ページ， 農学部：36～37ページ， 地域創造学環（教育プログラム）：38～39ページ	
2 後期日程	
人文社会科学部：40～43ページ， 教育学部：44～49ページ， 情報学部：50～52ページ， 理学部：53～58ページ， 工学部：59～63ページ， 農学部：64～65ページ， 地域創造学環（教育プログラム）：66ページ	
3 教育学部実技検査：67ページ	
4 地域創造学環（教育プログラム）実技検査：68ページ	
VI 個別学力検査等の日時・試験時間割及び試験場	69ページ
VII 合格発表	73ページ
VIII 欠員補充	74ページ
IX 出願手続	75ページ
1 出願期間	
2 出願方法	
3 出願書類等	
※ 受験票・写真票についての注意 < 76ページ >	
※ 検定料等の返還等について < 77ページ >	
・教育学部第2志望の選択に関する注意事項 < 78ページ >	
・工学部第2志望・第3志望学科の選択に関する注意事項 < 79～80ページ >	
☆ 学生生活	81ページ
☆ 寮生募集	82ページ
■ 静岡キャンパスマップ	83ページ
■ 浜松キャンパスマップ	84ページ
☆ 入学手続（概要）	85ページ
☆ 入学試験情報の提供	86ページ
☆ 個人情報の取扱い	86ページ
☆ 安全保障輸出管理について	86ページ
☆ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う配慮	87ページ

I はじめに

☆ 静岡大学の「アドミッション・ポリシー（求める学生像）」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。このビジョンの下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【入学を期待する学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「理念と目標・ポリシー」>『理念と目標』（<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/pdf/manifesto.pdf>）をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

◆ 各学部等の求める学生像

◆ 人文社会科学部

【育てる人間像】

21世紀の多様な問題に、社会、言語、文化、法律、政治、経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ、国際的な視野と幅広い教養を備え、人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに、専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育（体験型教育）を行います。

【入学を期待する学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち、人文社会科学領域に対する学習意欲と、そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき基礎能力等】

社会学科は5つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために、人間や社会に対しての旺盛な関心、各種科目についての基礎知識、論理的な思考力、正確な文章読解力、基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力、文章の読解力、自分の意見を伝える表現力、他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには、論理的な思考力、文章の読解力、自分の意思を適切に伝える表現力、他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち、幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには、必要な能力の素地となる基礎的な学力として、初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題などを理解しておくことが望まれます。

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して、教職に対する強い情熱を持つとともに、教員に必要な専門的知識や技能、様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることができる教育を行います。

【入学を期待する学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「入学を期待する学生像」を満たす人であるかどうか、入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は、志望する専攻・専修に課されている試験の科目について、幅広く学習を進めるだけでなく、日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくことが望まれます。

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学と情報社会についての豊かな知識と国際感覚を備え、情報モラルと高度な情報技術、情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学と情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに、計算機科学、情報サービス、情報社会デザインというそれぞれの分野において体系的な専門教育を行います。

【入学を期待する学生像】

新しい学問分野「情報学」に強く興味を持つ人、情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会に貢献しようという意欲のある人、情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが、大学入学後は3学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって、大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し、基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて、各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性ととも幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究，科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【入学を期待する学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は，受験者が上記の「入学を期待する学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。

したがって，入試種別に関わりなく，特定の教科・科目にかたよらないよう，高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び，人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし，「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え，地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ，多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し，独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【入学を期待する学生像】

「ものづくり」に興味があり，何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人，高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは，前後期日程とも5教科7科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに，個別学力検査では，各学科で学ぶための基本となる学力について問うため，前後期日程とも数学，理科，英語の3教科3科目を課しています。

したがって，入試種別に関わりなく，理系科目に重点を置きながらも，文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し、農学の幅広い専門分野を俯瞰でき、かつ相応の専門性を有するとともに、人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として、座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって、基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに、専門性を高める教育を行います。

【入学を期待する学生像】

自然科学，生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し，人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決，持続可能な生物生産技術の開発，応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は，受験者が「入学を期待する学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では，大学入学共通テストで5教科7科目と個別学力検査では数学，理科を課しています。また後期日程では，大学入学共通テストの5教科7科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって，入試種別に関わりなく，高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに，理系科目を十分に学習しておくことが必要です。

◆地域創造学環（教育プログラム）

地域創造学環では，地域社会の様々な問題・課題に興味関心があり，それらに主体的に関わろうとする思いを持っている人を求めます。

そして，ディプロマ・ポリシーに定める教育目標の達成のため，次に掲げる知識，能力，資質を備えた人を選抜します。

1. 高等学校等において幅広い教科・科目を修得している。
2. 大学において教養と専門的知識を身につけるための基礎となる日本語運用能力を有している。
(文章読解力，文章表現力，聴取力，語彙力)
3. 知識や情報，経験をもとに，様々な問題・課題につき筋道を立てて考え，判断することができる。
(論理的思考力，分析力，判断力，考察力)
4. いろいろなことを学び身につけ自分の能力を高めることにより，地域社会の担い手として成長したいという意欲を有している。
5. 学校での課外活動や地域でのボランティア活動等を通じて，他者とコミュニケーションをとりながら，グループで協働して課題に取り組んだ経験が豊富にある。
6. アートの分野において創造力と表現力を有している。
7. 一定のスポーツ歴ないしは基礎的・複合的運動力を有している。

入学者選抜では，入試区分ごとに，上記のうち複数の項目を重視した試験を実施することにより，多様な人材の選抜を行います。

☆ 入学試験の概要

《選抜方式について》

国立大学の個別学力検査は「分離・分割方式」（同一大学・学部を前期日程及び後期日程の二つのグループに分け、前期日程を2月25日から、後期日程を3月12日から実施する方式）で実施されます。

なお、本学は、前期日程を2月25日に、後期日程を3月12日に実施します。

《選抜方法について》

大学入学共通テスト、個別学力検査、実技検査、面接、小論文及び調査書を総合して選抜します。

☆ 学部等の所在地

静岡県 地区	人文社会科学部	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
	教育学部	
	理学部	
	農学部	
	地域創造学環（教育プログラム）	
	大学院（人文社会科学研究科修士課程）	
	〃（教育学研究科修士課程）	
	〃（教育学研究科後期3年博士課程）	
	〃（教育学研究科専門職学位課程）	
	〃（総合科学技術研究科理学専攻修士課程）	
	〃（総合科学技術研究科農学専攻修士課程）	
	〃（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
〃（岐阜大学大学院連合農学研究科後期3年博士課程）		
グリーン科学技術研究所		
浜松 地区	情報学部	〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号
	工学部	
	大学院（総合科学技術研究科情報学専攻修士課程）	
	〃（総合科学技術研究科工学専攻修士課程）	
	〃（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
	〃（光医工学研究科光医工学共同専攻後期3年博士課程）	
	電子工学研究所	
グリーン科学技術研究所		

Ⅱ 募集人員

学部	学科・課程等		一般選抜募集人員			
			前期日程	後期日程	計	
人文社会科学部	昼間 コース	社会科学科	40	8	48	
		言語文化学科	45	12	57	
		法学科	55	18	73	
		経済学科	95	15	110	
	計		235	53	288	
教育学部	発達教育学 専攻	教育実践学専修	5	2	7	
		教育心理学専修	7	—	7	
		幼児教育専修	10	—	10	
	学校教育 教員養成 課程	教科教育学専攻	初等学習開発学専攻	6	3	9
			養護教育専攻	4	4	8
			特別支援教育専攻	12	5	17
			国語教育専修	23	3	26
			社会科教育専修	18	6	24
			数学教育専修	24	3	27
			理科教育専修	15	8	23
			音楽教育専修	10	—	10
			美術教育専修	7	4	11
			保健体育教育専修	14	—	14
	技術教育専修	9	—	9		
家庭科教育専修	6	3	9			
英語教育専修	14	—	14			
計		184	41	225		
情報学部	情報科学科		55	30	85	
	情報社会科学科		40	23	63	
	行動情報科学科		45	20	65	
	計		140	73	213	
理学部	数学科		20	10	30	
	物理学科		20	18	38	
	化学科		19	18	37	
	生物科学科		20	20	40	
	地球科学科		27	10	37	
	※1 創造理学（グローバル人材育成）コース		7	7	14	
	計		113	83	196	
工学部	機械工学科		95	50	145	
	電気電子工学科		60	30	90	
	電子物質科学科		50	47	97	
	化学バイオ工学科		45	45	90	
	数理システム工学科		25	16	41	
	計		275	188	463	
農学部	生物資源科学科		45	25	70	
	応用生命科学科		35	20	55	
	計		80	45	125	
合計			1,027	483	1,510	
※2	地域創造学環（教育プログラム）		25	5	30	

※1 理学部創造理学（グローバル人材育成）コースは、数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い、各学科への配属は2年進級時になります。

※2 地域創造学環（教育プログラム）は、全学一括で募集を行います。

Ⅲ 出願資格及び出願要件

1 出願資格

入学を志願できる人は、次のいずれかに該当する人です。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した人及び令和4年3月卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和4年3月修了見込みの人（特別支援学校の高等部または高等専門学校第3学年修了者及び令和4年3月修了見込みの人が該当します。）
- (3) 学校教育法施行規則 第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの人

【注】同規則 第150条第7号で出願しようとする人は、出願資格の審査が必要です。出願期間開始2週間前までに本学に連絡してください。

同規則 第150条第4号に基づくGCEAレベルの入学資格により出願しようとする場合の科目数や評価等は、以下のとおりです。

学部等	科目数・評価等
人文社会科学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
教育学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
情報学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・情報科学科では数学、行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。(すべてAレベル試験)
理学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験1科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・数学及び理科(物理又は化学)に関する科目を含むものとします。
農学部	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験1科目 ・ASレベル試験は不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・理科(物理、化学又は生物)に限ります。
地域創造学環	<ul style="list-style-type: none"> ・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。

【参考】学校教育法施行規則第150条の規定内容

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和4年3月31日までに修了見込みの人またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和4年3月31日までに修了見込みの人
- 3 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人及び令和4年3月31日までに修了見込みの人
- 4 文部科学大臣の指定した人
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)に基づく大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和4年3月31日までに合格見込みの人で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

2 出願要件

一般選抜に出願する人は、令和4年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験していることが必要です。

※本学の指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験できませんので、科目名、科目数には十分注意してください。

(1) 【地理歴史, 公民】

- ① 大学入学共通テストでは、同一名称を含む科目の組み合わせ（「世界史Aと世界史B」，「日本史Aと日本史B」，「地理Aと地理B」，「倫理と『倫理, 政治・経済』」，「政治・経済と『倫理, 政治・経済』」）を2科目として選択することはできません。
受験科目を2科目または2科目まで可と指定した学科等において同一名称を含む科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を対象とします。第2解答科目は受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。
- ② 受験科目を1科目と指定した学科等において2科目受験した場合は、受験した科目のうち、第1解答科目の得点を対象とします。
- ③ 「公民から2科目は選択できません。」又は「地理歴史1科目を必ず含むこと。」と指定した学科等において「公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目のみを有効とします。

(2) 【理科】

- ① 「基礎付き科目」（「物理基礎」など）は、必ず2科目を受験してください。
ただし、「基礎付き科目」は、2科目で1つの科目とします。
- ② 教育学部及び地域創造学環（教育プログラム）の志願者で理科2科目を利用する場合は、同一名称を付した科目の組み合わせ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。同一名称を付した科目の組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。
なお、この場合有効とならなかった科目は、指定した科目を受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。
- ③ 「基礎付き科目」，「基礎なし科目」をともに選択対象とし、受験科目を1科目と指定した学科等において2科目受験した場合は、次のとおり取扱います。
 - ・ 「基礎付き科目」を受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」の第1解答科目のうちから、高得点の1科目を対象とします。
 - ・ 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目の得点を対象とします。

(3) 【数学】：「簿記・会計」，「情報関係基礎」

本学の指定した人以外の人を選択解答した場合には、大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。

- ・ 教育学部、情報学部、理学部、農学部及び地域創造学環（教育プログラム）の志願者は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限り、これらの科目を選択することができます。
- ・ 人文社会科学部の志願者は、高等学校等での履修に関わらず、これらの科目を選択することができます。

(4) 【外国語】：「英語」

本学では、大学入学共通テストの「英語」で「リスニング」を利用します。大学入学共通テストの「外国語」において「英語」を選択解答する人（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）は、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。

「リーディング」または「リスニング」のいずれかしか受験していない場合には、大学入学共通テストで「外国語」を受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。

3 出願上の注意

- (1) 本学または他の国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った人は、後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- (2) 本学または他の国公立大学の学校推薦型選抜の合格者及び総合型選抜に合格し入学手続を完了した人は、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。ただし、当該大学の学校推薦型選抜の辞退を許可された人及び総合型選抜の入学辞退届を提出した人は除きます。
- (3) 本学では、前期日程及び後期日程で、異なる学部間、同じ学部内であっても、それぞれ一つ出願することができます。
- (4) 出願後の志望学部等、学科・課程（専攻・専修）、選択教科・科目及び選択方法の変更は認めません。

IV 障害等のある入学志願者への受験上の配慮

- 1 障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願する前に、下記により申請してください。結果については決定次第、本人に連絡します。大学入学共通テストの受験に際し配慮を申請した人も、必ず申請してください。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	令和3年12月17日（金）（厳守でお願いします。） ※対応の検討に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』の写しに加え、大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書」の写しを添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人またはその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課入試実施係 TEL 054-238-4465

- 2 上記申請期限後に、不慮の事故等のため、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、速やかに本人または代理人が医師の『診断書』を持参のうえ、上記【連絡先】に申請してください。
- 3 受験上の配慮の許可を受けた場合には、出願書類送付封筒の表に「受験上の配慮」と朱書きし本学から送付された「受験上の配慮についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

【注】1 「受験上の配慮申請書」は、本学のウェブサイトからダウンロードしてください。

（学部入試サイト = <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/measures.html>）

郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は、84円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形4号：20.5cm×9cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。

- 2 電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日（12月28日～1月3日の年末年始を含みます）には受け付けませんので注意してください。

V 選 抜 方 法 等

◎選抜方法等の概略及び掲載ページ

学部	学 科 ・ 課 程 等		前期日程			後期日程			
			共通テスト	個別学力検査等	ページ	共通テスト	個別学力検査等	ページ	
人文社会科学部	昼間コース	社会学科	6(5)教科7科目	国語・英語・小論文	13	6(5)教科7科目	小論文	40	
		言語文化学科	6(5)教科7科目	国語・英語・小論文	14	6(5)教科7科目	小論文	41	
		法学科	6(5)教科7科目	国語・英語	15	6(5)教科7科目	小論文	42	
		経済学科	6(5)教科7科目	国語・英語	16	6(5)教科7科目	小論文	43	
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育専攻	教育実践学専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	17	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	44
			教育心理学専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	17	—	—	—
			幼児教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	17	—	—	—
		初等学習開発学専攻	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	17	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	44	
		養護教育専攻	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	18	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	45	
		特別支援教育専攻	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	19	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	45	
		教科教育学専攻	国語教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	19	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	46
			社会科教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	19	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	46
			数学教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	19	6(5)教科7科目	数学	47
			理科教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	21	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	48
			音楽教育専修	6(5)教科7科目	実技・小論文	20	—	—	—
			美術教育専修	6(5)教科7科目	実技・小論文	20	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	49
			保健体育教育専修	6(5)教科7科目	実技・小論文	20	—	—	—
			技術教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	21	—	—	—
家庭科教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	21	6(5)教科7科目	面接(小論文を含む)	48			
英語教育専修	6(5)教科7科目	国語・数学・英語から2・小論文	21	—	—	—			
情報学部	情報科学科	5教科7科目	数学・英語	22	5教科7科目	数学	50		
	情報社会学科	6(5)教科7科目	英語・小論文	23	6(5)教科7科目	英語	51		
	行動情報学科	6(5)教科7科目	英語・総合	24	6(5)教科7科目	英語	52		
理学部	数学科	5教科7科目	数学・理科	25	5教科7科目	数学・調査書	53		
	物理学科	5教科7科目	数学・物理	26	5教科7科目	物理・調査書	54		
	化学科	5教科7科目	数学・化学	27	5教科7科目	化学・小論文	55		
	生物科学科	5教科7科目	数学・生物	28	5教科7科目	理科・調査書	56		
	地球科学科	5教科7科目	数学・理科	29	5教科7科目	小論文	57		
	創造理学(グローバル人材育成)コース	5教科7科目	数学・理科	30	5教科7科目	数学・理科から1・調査書	58		
工学部	機械工学科	5教科7科目	数学・物理・英語	31	5教科7科目	数学・物理・英語	59		
	電気電子工学科	5教科7科目	数学・物理・英語	32	5教科7科目	数学・物理・英語	60		
	電子物質科学科	5教科7科目	数学・理科・英語	33	5教科7科目	数学・理科・英語	61		
	化学バイオ工学科	5教科7科目	数学・理科・英語	34	5教科7科目	数学・理科・英語	62		
	数理システム工学科	5教科7科目	数学・理科・英語	35	5教科7科目	数学・理科・英語	63		
農学部	生物資源科学科	5教科7科目	数学・理科	36	5教科7科目	理科・調査書	64		
	応用生命科学科	5教科7科目	数学・理科	37	5教科7科目	理科・面接	65		
地域創造学環 (教育プログラム)	選抜方法A(文理融合系)	6(5)教科7科目	国語・数学・英語・理科から2※	38	—	—	—		
	選抜方法B(アート系) 選抜方法C(スポーツ系)	3教科3科目	小論文・実技	39	—	—	—		
	全コース	—	—	—	6(5)教科7科目	小論文・面接	66		

1 「大学入学共通テスト」の表記『6(5)教科7科目』について

○国語1, 数学2, 外国語1科目と「地理歴史, 公民」, 理科から3科目を選択する場合, 次のようになります。

- ・地理歴史から1, 公民から1, 理科から1科目を選択の場合 …… 6教科7科目
- ・地理歴史から2, 理科から1科目を選択の場合 …… 5教科7科目
- ・「地理歴史, 公民」から1, 理科から2科目を選択の場合 …… 5教科7科目

2 「個別学力検査」の選択教科・科目について

出願時に登録した選択教科・科目等の出願後の変更は認めません。

理科は, 学科等により指定された複数の科目から1科目を選択します。

※ 地域創造学環(教育プログラム)では, 英語と理科の組み合わせは選択できません。

1 選抜方法等（前期日程）

前期 - (1)

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	社会学科
募集人員	40名

前期日程

選抜方法等
人文社会科学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 600)																									
6教科7科目 (地理歴史を2科目選択した場合は、5教科7科目)																									
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語																
	地理歴史		公民		①	②	①	②																	
国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	英	ド	フ	中	韓										
界	界	本	本	理	理	代	治	理	理	理						語	イ	ラ	国	国					
史	史	史	史	社	社	会	理	経	経	経	会	語	ツ	ス	語	語									
語	A	B	A	B	A	B	会	理	済	済	数	学	物	化	生	地	物	化	生	地	英	ド	フ	中	韓
必須	2つ選択 〔地理歴史1科目を必ず含むこと。〕				必須	1つ選択	1つ選択 (※) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕				1つ選択														
配 点	100	100×2				50	50	50				150													

(※) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 300)

1	国語 (国語総合・現代文B・古典B〔古文・漢文〕) [配点100]
2	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点100]
3	小論文 [配点100]
配点合計	900

選抜方針	<p>人間社会や文化を現代的、歴史的な観点(哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学)から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを旨とし、そのための能力、学力、適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査(国語、英語、小論文): 社会学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い視点からの分析力や考察力、論理的思考力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『外国語』は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を150点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。

前期 - (2)

前期日程	学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
	学 科	言語文化学科
	募集人員	45 名

選 拔 方 法 等	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 750)																							
	6 教 科 7 科 目 (地理歴史または公民を 2 科目選択した場合は、5 教科 7 科目)																							
	国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語														
		地理歴史, 公民				①	②	①	②															
	国語	世 界 史	日 本 史	地 理 史	地 理 史	現 代 社 会	倫 理 治 理	倫 理 治 理	数 学 I	数 学 II	簿 記 学	情 報 関 係 基 礎	物 理 学	化 学	生 物 学	地 球 学	物 理 学	化 学	生 物 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
	語	A	B	A	B	A	B	A	B	会 理 済 済	学 学	学 学	学 学	学 学	学 学	学 学	学 学	学 学	学 学	語	語	語	語	語
必須	2 つ選択				必須	1 つ選択	1 つ選択 (※)				1 つ選択													
配 点	200	100×2				50	50	50				200												

(※) 『理科』を 2 科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の 1 科目 (「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第 1 解答科目) を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 500)

1	国語 (国語総合・現代文 B・古典 B [古文・漢文]) [配点 200]
2	英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点 200]
3	小論文 [配点 100]
配点合計	1250

選抜方針	<p>従来の文学, 語学の領域にとどまらず, 言語によって表現されるあらゆる文化事象を教育研究の対象とする方針の下で, 言語と文化に関する深い専門性と学際的・国際的な視野, 及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指し, そのための学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査 (国語, 英語, 小論文): 言語文化学科において学ぶために必要な読解力, 論理的思考能力, 表現力, 芸術・文化的感性, 外国語の読解力・表現力, 主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2 段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 なお, 同一順位者が合格点である場合には, 同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は 0 点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <p>○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)</p> <p>○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を 150 点満点, 「リスニング」を 50 点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を 200 点満点とします。</p> <p>○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は, 高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。</p>

前期 - (3)

前期日程

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	法 学 科
募集人員	55 名

選 抜 方 法 等
人文社会科学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 600)																								
6 教科 7 科目 (地理歴史を 2 科目選択した場合は, 5 教科 7 科目)																								
国語	地理歴史			公民		数 学			理 科		外国語													
	地理歴史, 公民			①	②	①	②																	
国	世	日	地	現	倫	政	倫	数	数	簿	情	物	化	生	地	物	化	生	地	英	ド	フ	中	韓
語	界	本	理	代	治	理	治	学	学	記	報	理	学	物	学					語	リ	ス	ニ	ン
語	史	史	史	社	経	経	経	学	学	会	基	基	基	基						語	リ	ス	ニ	ン
語	B	B	B	会	理	済	済	A	B	計	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	語	リ	ス	ニ	ン
必須	2つ選択 〔地理歴史1科目を必ず含むこと。〕			必須		1つ選択		1つ選択 (※1) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		1つ選択								1つ選択						
配 点	100+100+50+50+50+50 (※2)										200													
(※1) 『理科』を2科目受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目 (「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 「基礎なし科目」の第1解答科目) を採用します。 (※2) 『国語』『地理歴史, 公民』『数学』『理科』の配点 (満点) は, 得点率の和が最も大きい2科目を各100点, 他の4科目を各50点として換算し直します。 ただし, 「得点率の和が最も大きい2科目」の選定に際しては, 『地理歴史, 公民』第2解答科目は『地理歴史, 公民』第1解答科目との組み合わせにおいてのみ, 考慮します。																								
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																								
1 国語 (国語総合・現代文B) [古文・漢文を除く。小論文形式での出題を含む。] [配点200] 2 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]																								
配点合計	1000																							

選抜方針	法学・政治学は, 現代社会の理解を目的に, それに必要な法的・政治的な知識, 分析・総合能力, 論理的思考能力, 表現能力などの修得を目指すものです。大学入学共通テスト・個別学力検査ではそれに要する学力・能力・適性等を, 以下のように判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査 (国語, 英語): 法学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力, 論理的思考力, 主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 なお, 同一順位者が合格点である場合には, 同順位者すべてを合格者とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備 考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は, 高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。

前期 - (4)

前期日程	学部	人文社会科学部 (昼間コース)															
	学科	経済学科															
	募集人員	95名															
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																
	6教科7科目 (地理歴史または公民を2科目選択した場合は、5教科7科目)																
	国語	地理歴史		公民		数学		理科		外国語							
		地理歴史, 公民				①	②	①	②								
	国語	世界史A	世界史B	地理歴史A	地理歴史B	現代社会	政治経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地理物理学	英語リスニングを含む ドイツ語 フランス語 中国語
	必須	2つ選択				必須	1つ選択		1つ選択 (※) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕			1つ選択					
	配点	200		100×2		100	100		100			200					
(※) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目 (「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目) を採用します。																	
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 300)																	
	1 国語 (国語総合・現代文B) [古文・漢文を除く。小論文形式での出題を含む] [配点100] 2 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]																
配点合計	1200																
選抜方針	人々の経済活動は、近現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済のあり方が大きく変化していくなかで、その実態や理論を学び、分析を深め、深刻な経済問題や地球環境問題を解決することはきわめて重要です。経済学科では、このような問題に取り組むことができる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査 (国語, 英語)：経済学科において学ぶための基本となる国語・英語能力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。																
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。 4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。																
備考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。																

学 部	教育学部			
課程・専攻等	学校教育教員養成課程			
	発達教育学専攻			初等学習開発学専攻
	教育実践学専修	教育心理学専修	幼児教育専修	
募集人員	5名	7名	10名	6名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																				
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語											
	地理歴史, 公民		①	②	①	②														
国	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 学	地 理 学	物 理 学	物 理 学	数 学 I	数 学 II	簿 記	情 報 関 係 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語			
語	A	B	A	B	A	B	現 代 社 会 理 済 学	倫 理 治 理 政 治 経 済 学	物 理 学 基 礎	物 理 学 基 礎	物 理 学 基 礎	物 理 学 基 礎	数 学 A	数 学 B	簿 記 会 計 基 礎	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕						必須	1つ選択	1つ選択											
配 点	200		100×3				100	100	200											
<p>(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 450)																				
<p>1 次の(1), (2), (3)から、2教科選択 [配点150×2]</p> <p>(1) 国語 (国語総合・現代文B・古典B [古文・漢文])</p> <p>(2) 数学 (数学I・数学II・数学A・数学B)</p> <p>(3) 英語 (コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III, 英語表現I・英語表現II)</p> <p>2 小論文 [配点150]</p>																				
配点合計 1350																				

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：第1志望及び第2志望の志願者の中から、あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。ただし、同一者が第1志望及び第2志望いずれの専攻、専修においても合格する得点である場合は、第1志望専攻、専修の合格者となります。</p> <p>3 同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目、及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p> <p>5 得点調整：個別学力検査の選択教科(国語, 数学, 英語)の間で、20%以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合、得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【第1, 第2志望】教育学部では、第1志望でAグループの専攻, 専修を選択した場合、同一グループ内の専攻, 専修の中から第2志望を選択できます。(グループ分けは78ページ参照)</p> <p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。</p> <p>【注3】入試の選抜・判定に直接影響することはありませんが、幼児教育専修を志望する者は、『バイエルピアノ教則本』65番程度のピアノ演奏技能があることが望まれます。</p>

前期 - (6)

前期日程

学 部	教育学部
課程・専攻等	学校教育教員養成課程 養護教育専攻
募集人員	4名

選 抜 方 法 等

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は、5 教科 7 科目)																				
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語											
	地理歴史, 公民				①	②	①	②												
国語	世界史 A	日本史 B	地理歴史 A	地理歴史 B	現代社会	政治経済	倫理	政治・経済	物理学基礎	地学基礎	地学基礎	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	英語リスニングを含む 英語読解	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕								必須	1つ選択	1つ選択									
配 点	200		100×3				100	100	200											
<p>(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 450)																				
<p>1 次の (1), (2), (3) から, 2 教科選択 [配点150×2]</p> <p>(1) 国語 (国語総合・現代文 B・古典 B [古文・漢文])</p> <p>(2) 数学 (数学 I・数学 II・数学 A・数学 B)</p> <p>(3) 英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II)</p> <p>2 小論文 [配点150]</p>																				
配点合計		1350																		

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目、及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p> <p>5 得点調整：個別学力検査の選択教科 (国語, 数学, 英語) の間で、20%以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合、得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査 『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。</p>

学 部	教育学部			
課程・専攻等	学校教育教員養成課程			
	特別支援教育専攻	教科教育学専攻		
		国語教育専修	社会科教育専修	数学教育専修
募集人員	12名	23名	18名	24名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																												
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																												
国語	地理歴史		公 民		理 科		数 学		外国語																			
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																						
国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	物	化	生	地	物	化	生	地	数	学	簿	情	英	ド	フ	中	韓	
語	A	B	A	B	A	B	代	治	理	政	理	学	物	学	理	学	物	学	学	学	学	記	報	語	イ	ラ	国	国
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕														必須	1つ選択	1つ選択											
配 点	200		100×3				100		100		200																	
<p>(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																												
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 450)																												
<p>1 次の(1), (2), (3)から、2教科選択 [配点150×2]</p> <p>(1) 国語(国語総合・現代文B・古典B〔古文・漢文〕)</p> <p>(2) 数学(数学I・数学II・数学A・数学B)</p> <p>(3) 英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III, 英語表現I・英語表現II)</p> <p>2 小論文 [配点150]</p>																												
配点合計 1350																												

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：第1志望及び第2志望の志願者の中から、あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。ただし、同一者が第1志望及び第2志望いずれの専攻、専修においても合格する得点である場合は、第1志望専攻、専修の合格者となります。</p> <p>3 同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目、及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p> <p>5 得点調整：個別学力検査の選択教科(国語, 数学, 英語)の間で、20%以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合、得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【第1, 第2志望】教育学部では、第1志望でAグループの専攻, 専修を選択した場合、同一グループ内の専攻, 専修の中から第2志望を選択できます。(グループ分けは78ページ参照)</p> <p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査 『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。</p>

前期 - (8)

前期日程
選抜方法等
教育学部

学 部	教育学部		
課程・専攻等	学校教育教員養成課程		
	教科教育学専攻		
募集人員	音楽教育専修	美術教育専修	保健体育教育専修
	10名	7名	14名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)

6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は、5教科 7 科目)																											
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語																		
	地理歴史, 公民				①	②	①	②																			
国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理	政治	倫理	政治	経済	社会	物理	基礎	化学	基礎	生物	基礎	地学	基礎	数学 I	数学 II	簿記	情報関係基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	1つ選択	1つ選択														
配 点	200		100×3				100	100	200																		

(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。

(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。

- ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。
- ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 450)

	1 小論文 [配点150] 2 実 技 (67ページ参照) [配点300]
配点合計	1350

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目、及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

学 部	教育学部			
課程・専攻等	学校教育教員養成課程			
	教科教育学専攻			
	理科教育専修	技術教育専修	家庭科教育専修	英語教育専修
募集人員	15名	9名	6名	14名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																													
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																													
国語	地理歴史		公 民		理 科		数 学		外国語																				
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																							
国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	物	化	生	地	物	化	生	地	数	学	簿	情	英	ド	フ	中	韓		
語	界	界	本	本	理	理	代	治	理	政	理	学	物	学	学	物	学	学	学	学	学	記	報	語	イ	ラ	国	国	
	史	史	史	史	社	社	社	経	経	経	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	会	係	語	リ	ス	ニ	ン	グ
	A	B	A	B	A	B	会	理	済	済	理	学	物	学	理	学	物	学	学	学	A	B	計	基	語	語	語	語	語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕														必須	1つ選択	1つ選択												
配 点	200	100×3														100	100	200											
<p>(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																													
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 450)																													
<p>1 次の(1), (2), (3)から、2教科選択 [配点150×2]</p> <p>(1) 国語 (国語総合・現代文B・古典B [古文・漢文])</p> <p>(2) 数学 (数学I・数学II・数学A・数学B)</p> <p>(3) 英語 (コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III, 英語表現I・英語表現II)</p> <p>2 小論文 [配点150]</p>																													
配点合計	1350																												

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>																										
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：第1志望及び第2志望の志願者の中から、あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。</p> <p>ただし、同一者が第1志望及び第2志望いずれの専攻、専修においても合格する得点である場合は、第1志望専攻、専修の合格者となります。</p> <p>3 同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目、及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p> <p>5 得点調整：個別学力検査の選択教科(国語、数学、英語)の間で、20%以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合、得点調整を行います。</p>																										
備 考	<p>【第1, 第2志望】教育学部では、第1志望でAグループの専攻、専修を選択した場合、同一グループ内の専攻、専修の中から第2志望を選択できます。(グループ分けは78ページ参照)</p> <p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。</p>																										

前期 - (10)

前期日程	学部	情報学部																		
	学科	情報科学科																		
	募集人員	55名																		
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 600)																			
	5教科7科目																			
	国語	地理歴史	公民	数 学		理 科		外国語												
		地理歴史, 公民		①	②	①	②													
	国語	世界史 A	日本史 A	地理歴史 B	現代社会	政治経済	倫理・政治・経済	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	必須	1つ選択 (※1)			必須	1つ選択					2つ選択		1つ選択							
	配点	150		25		100		100				50+25(※2)		150						
(※1) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。 (※2) 『理科』の配点は, 第1解答科目を50点とします。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 550)																				
	1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点300] 2 英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点250]																			
配点合計	1150																			
選抜方針	人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に, a. 計算機科学の基礎となる理論や技術, b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術, c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム, d. 音声や画像, 自然言語などのメディア処理とその応用, e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し, そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力, 理解力, 記述力などを多面的・総合的に判断します。																			
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。																			
備考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点, 「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点に換算)を150点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を情報科学科独自の問題とし, 情報分野を含む科学技術に関する問題を出題します。																			

前期 - (11)

学 部	情 報 学 部
学 科	情 報 社 会 学 科
募集人員	40 名

前 期 日 程

選 抜 方 法 等
情 報 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 850)																				
6 教科 7 科目 (地理歴史を2科目選択した場合は、5教科7科目)																				
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語											
	地理歴史		公民		①	②	①	②												
国語	世 界 史	日 本 史	地 球 史	地 球 史	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 球 学 基 礎	英 語 リスニングを含む	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
必須	2つ選択 〔公民から2科目は選択できません。〕				必須	1つ選択	1つ選択(※2) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		1つ選択											
配 点	200		100+50 (※1)		100	100	50		250											
(※1) 配点は、『地理歴史、公民』の第1解答科目を100点とし、第2解答科目を50点とします。 (※2) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																				
1 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]																				
2 小論文 [配点200]																				
配点合計	1250																			

選抜方針	<p>高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、表現力、問題発見能力などを総合的に判断します。「小論文」においては、与えられた課題に対する理解力や思考力にもとづき、論理的な文章を主体的に組み立てる能力、記述力など、情報社会学を基盤に社会で活躍していくために必要な素養(情報社会的素養)を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点に換算)を250点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

前期 - (12)

前期日程
 選抜情報学部等

学 部	情報学部
学 科	行動情報学科
募集人員	45名（選抜区分A30名，選抜区分B15名）

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（配点計 900）																	
6（5）教科7科目																	
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語								
	地理歴史，公民		①	②	①	②											
国語	世界史A	日本史B	地理歴史A	地理歴史B	現代社会	政治・経済	倫理	政治・経済	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理学基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	英語リスニングを含む ドイツ語 フランス語 中国語
選抜区分A 配点	必須 1つ選択（※1）				必須	1つ選択	1つ選択（※2） 【「基礎付き科目」は2科目で1つとします。】		1つ選択	2つ選択		1つ選択					
	150				100	100	100		100	100×2		250					
選抜区分B 配点	必須 2つ選択 【公民から2科目は選択できません。】				必須	1つ選択	1つ選択（※2） 【「基礎付き科目」は2科目で1つとします。】		1つ選択	2つ選択		1つ選択					
	150				100	100	100		100	100		250					
（※1）『地理歴史，公民』を2科目受験した場合は，第1解答科目の得点を採用します。 （※2）『理科』を2科目受験した場合は，「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目（「基礎付き科目」を受験しなかった場合は，「基礎なし科目」の第1解答科目）を採用します。																	
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等（配点計 400）																	
1 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 〔配点200〕																	
2 総合 〔配点200〕																	
配点合計	1300																

選抜方針	高度情報化社会の下で，個人や組織の行動主体の情報学研究や，ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では，情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに，革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （2）個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が，ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算）を250点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は，高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『総合』は「現代文B」（目的や課題に応じて，収集した様々な情報を分析，整理して資料を作成し，自分の考えを効果的に表現すること），「数学Ⅰ」（データの分析），「数学B」（確率分布と統計的な推測）を中心に，現実的課題に関連したデータ分析に関する問題を出題し，学科の特性にあった総合的な能力を評価します。

前期 - (13)

学 部	理 学 部
学 科	数 学 科
募集人員	20 名

前
期
日
程

選
抜
方
法
等

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																										
5 教科 7 科目																										
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語																	
	地理歴史, 公民				①	②	①	②																		
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 治 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 治 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	/	/	/	/	物 理 学	化 学	生 物	地 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シュ	フ ランス	中 国 語	韓 国 語
必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択	1つ選択																
配 点	200	100				100	100			100×2	200															
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																										
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 600)																										
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400]																										
2 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から1) [配点200]																										
配点合計	1500																									

選抜方針	<p>現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも, それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 数学科において学ぶための基本となる理解力, 論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。

前期 - (14)

前期日程 選抜方法等 理学部	学部	理学部																			
	学科	物理学科																			
	募集人員	20名																			
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
	5教科7科目																				
	国語	地理歴史		公民		数学			理科			外国語									
		地理歴史, 公民				①	②		①	②											
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択									
	配点	200		100				100	100			100×2		200							
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																					
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																					
	1 数学 (数学I・数学II・数学III・数学A・数学B) [配点200] 2 理科 (物理) [配点200]																				
配点合計	1300																				
選抜方針	物理学の基本となる力学, 電磁気学, 統計物理学, 量子力学などの科目を通じて, 物理学的な考え方や数学的手法を学び, 自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて, 社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 物理学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。																				
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。																				
備考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。																				

前期 - (15)

前期日程

学 部	理 学 部
学 科	化 学 科
募集人員	19 名

選 抜 方 法 等
理 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																												
5 教科 7 科目																												
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語																			
	地理歴史, 公民				①	②	①	②																				
国語	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 理 史	地 理 理 史	現 代 社 会	倫 理 治 理	政 治 経 済	倫 理 治 理	政 治 経 済	数 学 I	数 学 II	簿 記 会 計	情 報 関 係 基 礎	/	/	/	/	物 理 学	化 学	生 物 学	地 球 学	英 語 リスニングを含む	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択				2つ選択	1つ選択																	
配 点	200		100		100	100				100×2	200																	
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																												
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																												
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点100]																												
2 理科 (化学) [配点300]																												
配点合計	1300																											

選抜方針	<p>理論化学, 無機化学, 分析化学, 有機化学, 生化学などの化学の幅広い理論や技術を学び, 自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 化学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。

前期 - (16)

前 期 日 程 選 抜 方 法 等 理 学 部	学 部	理 学 部																					
	学 科	生物科学科																					
	募集人員	20 名																					
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
	5 教科 7 科目																						
	国語	地理歴史		公民		数 学			理 科			外国語											
		地理歴史, 公民				①	②		①	②													
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 球 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シ 語	フ ランス 語	中 国 語	韓 国 語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択											
	配 点	200		100				100	100			100×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 500)																							
	1 数学 (数学 I・数学 II・数学 A・数学 B) [配点200] 2 理科 (生物) [配点300]																						
配点合計	1400																						
選抜方針	生物科学についての理論と技術を幅広く学び, 生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 生物科学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。																						
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。																						
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。																						

前期 - (17)

学 部	理 学 部
学 科	地球科学科
募集人員	27 名

前
期
日
程

選
抜
方
法
等

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
5 教科 7 科目																						
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語													
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 治 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 治 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シュ	フ ランス	中 国 語	韓 国 語
必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択											
配 点	200		100				100	100			100×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																						
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 500)																						
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 A・数学 B) [配点200]																						
2 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から1) [配点300]																						
配点合計	1400																					

選抜方針	<p>地球科学についての理論と技術を幅広く学び, 地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 地球科学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高専課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。

前期 - (18)

前 期 日 程 選 抜 方 法 部 等	学 部	理 学 部																					
	学 科	創造理学（グローバル人材育成）コース																					
	募集人員	7名																					
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（配点計 550）																						
	5 教科 7 科目																						
	国語	地理歴史		公民		数 学			理 科			外国語											
		地理歴史, 公民				①	②		①	②													
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シュ	フ ランス	中 国 語	韓 国 語
	必須	1つ選択（※）				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択											
	配 点	100		50				50	50			50×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等（配点計 200）																							
	1 数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）〔配点100〕 2 理科（物理, 化学, 生物, 地学から1）〔配点100〕																						
配点合計	750																						
選抜方針	基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え, 英語による情報の収集と発信する力や国際感覚を持ち, 各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力, 特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。 (2) 個別学力検査: 創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。																						
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。																						
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。 【注3】創造理学（グローバル人材育成）コースは, 数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い, 各学科への配属は2年進級時になります。																						

学 部	工 学 部
学 科	機械工学科
募集人員	95 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)									
5 教科 7 科目									
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語
	地理歴史, 公民		①	②	①	②			
国語	世界史 A	日本史 B	現代史 A	政治・経済 B	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	物理	化学	英語リスニングを含む
必須	1つ選択 (※)			必須	必須		必須	必須	
配 点	150	100		75	75		75×2	150	
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。									
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)									
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400] 2 理科 (物理) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点200]									
配点合計	1700								

選抜方針	<p>航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材, ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材, 光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(79ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出题します。 【注3】宇宙・環境コース, 知能・材料コース 及び 光電・精密コースへのコース分けを2年次末に行い, 各コースへの配属は, 3年次はじめとなります。</p>

前期 - (20)

前期日程	学部	工学部											
	学科	電気電子工学科											
	募集人員	60名											
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)												
	5教科7科目												
	国語	地理歴史			公民		数学		理科		外国語		
		地理歴史, 公民			①	②	①	②					
	国語	世界史	世界史	日本史	日本史	現代史	政治・経済	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ	物理・化学・生物	英語(リスニングを含む)
	必須	1つ選択(※)			必須	必須			必須			必須	
	配点	150	100			75	75			75×2	150		
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。													
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)													
	1 数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ) [配点400] 2 理科(物理) [配点400] 3 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]												
配点合計	1700												
選抜方針	現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は, 情報通信・情報処理, 生体医用技術, 光エレクトロニクス, 電気エネルギーの発生および有効利用, パワーエレクトロニクス, 電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養(工学的素養)を判断します。												
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。												
備考	【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(79ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学Ⅲ』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。 【注3】情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。												

前期 - (21)

学 部	工 学 部
学 科	電子物質科学科
募集人員	50 名

前
期
日
程

選
抜
方
法
等

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)																		
5 教科 7 科目																		
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語									
	地理歴史, 公民		①	②	①	②												
国語	世 界 史	世 界 史	日 本 理 史	日 本 理 史	地 理 史	地 理 史	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	/	/	/	/	物 理	化 学	英 語 (リス ニング を含 む)
必須	1つ選択 (※)				必須	必須		必須	必須									
配 点	150	100		75	75		75×2	150										

(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)	
1	数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400]
2	理科 (物理, 化学から1) [配点400]
3	英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点200]
配点合計	1700

選抜方針	<p>電子物質科学は, 現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで, 本学科では数学, 物理や化学の基礎学力があり, 日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術とともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への可否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(79ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『英語』は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。 【注3】電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。</p>

前期 - (22)

前期日程	学部	工学部														
	学科	化学バイオ工学科														
	募集人員	45名														
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)															
	5教科7科目															
	国語	地理歴史			公民		数学		理科		外国語					
		地理歴史, 公民			①	②	①	②								
	国語	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	数	学	理	科	英
		界	界	本	本	史	史	代	治	理	・	数	学	物	化	語
		史	史	史	史	史	史	社	経	・	政	治	・	理	学	リ
	史	史	史	史	史	史	会	理	済	済	学	A	学	B	ス	
	A	B	A	B	A	B	会	理	済	済	学	A	学	B	ス	
必須	1つ選択 (※)					必須	必須	必須		必須	必須					
配点	150	100					75	75	75×2		150					
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)																
	1 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) [配点400] 2 理科 (物理, 化学, 生物から1) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]															
配点合計	1700															
選抜方針	化学バイオ工学科では, 光機能物質, 生体機能物質などの環境調型高機能物質のデザインと創成や, 環境化学, 化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また, 化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより, 研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において, 責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では, そのために必要な能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これからを生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。															
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。															
備考	【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(79ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点 (「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点) を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『英語』は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。 【注3】環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。															

前期 - (23)

学 部	工 学 部
学 科	数理システム工学科
募集人員	25 名

前
期
日
程

選
抜
方
法
等
工
学
部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)									
5 教科 7 科目									
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語
	地理歴史, 公民		①	②	①	②			
国語	世界史 A	日本史 B	現代史 A	政治・経済 B	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	物理	化学	英語(リスニングを含む)
必須	1つ選択(※)			必須	必須		必須	必須	
配 点	150	100		75	75		75×2	150	

(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)	
1	数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400]
2	理科 (物理, 化学から1) [配点400]
3	英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点200]
配点合計	1700

選抜方針	<p>数理システム工学科では, 数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎, そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により, 「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養(工学的素養)を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(79ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。</p>

前期 - (24)

前期日程
選抜方法等
農学部

学 部	農 学 部
学 科	生物資源科学科
募集人員	45 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
5 教科 7 科目																				
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語											
	地理歴史, 公民		①	②	①	②														
国語	世界史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地理	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択									
配 点	200		100		100	100			100×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																				
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 A・数学 B) [配点200]																				
2 理科 (物理, 化学, 生物から1) [配点200]																				
配点合計	1300																			

選抜方針	<p>人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し, 持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 理系の教科の達成度から, 農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: 志願者の中から, あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。

前期 - (25)

学 部	農 学 部
学 科	応用生命科学科
募集人員	35 名

前
期
日
程

選
抜
方
法
等

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
5 教科 7 科目																				
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語											
	地理歴史, 公民		①	②	①	②														
国語	世界史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択									
配 点	200		100		100	100			100×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																				
1 数学 (数学 I・数学 II・数学 A・数学 B) [配点200] 2 理科 (物理, 化学, 生物から1) [配点200]																				
配点合計	1300																			

選抜方針	<p>人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し, 持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 理系の教科の達成度から, 農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: 志願者の中から, あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高専課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。

前期 - (26)

前 期 日 程 選 抜 方 法 等	学部等	地域創造学環 (教育プログラム) [全学一括募集]																								
	コース	全コース																								
	募集人員	15名																								
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																									
	6教科7科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																									
	国語	地理歴史		公民		理科		数学		外国語																
		地理歴史, 公民		①		②		①		②																
	国語	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 史	地 理 史	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理 学	化 学 物 理	生 物 物 理	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ツ シ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
	必須	3つ選択 (※1・2) [公民から2科目は選択できません。] [理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。]						必須	1つ選択		1つ選択															
	配点	200		100×3				100		100		200														
(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。 (※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																										
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																										
配点合計	○ 次の1, 2, 3, 4から、2教科選択 [配点200×2] ※英語と理科の組み合わせは選択できません。 1 国語 (国語総合・現代文B・古典B [古文・漢文]) 2 数学 (数学I・数学II・数学A・数学B) 3 英語 (コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III, 英語表現I・英語表現II) 4 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から1)																									
配点合計	1300																									
選抜方針	地域創造学環では、地域社会が抱えている様々な問題に対処し、地域社会をより活力にあふれた魅力的なものにするための課題に取り組むことができる人を育てることを目指します。志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての教科学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査：地域創造学環で学ぶための基礎となる読解力、考察力、分析力、論理的思考力等を総合的に判断します。																									
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は、不合格となります。 5 得点調整：個別学力検査の選択教科 (国語, 数学, 英語, 理科) の間及び「理科」の科目間で、原則として20%以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合、得点調整を行います。																									
備考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。																									

前期 - (27)

前期日程

地域創造学環（教育P）
選抜方法等

学部等	地域創造学環（教育プログラム）〔全学一括募集〕	
コース	全コース	
	選抜方法B（アート系）	選抜方法C（スポーツ系）
募集人員	5名	5名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（配点計 600）

3教科3科目																	
国語	地理歴史		公民		数学		理科		外国語								
	地理歴史、公民				①	②	①	②									
国語	世界史A	世界史B	現代史A	現代史B	数学I	数学II	簿記	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地理基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択（※） 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											1つ選択					
配点	200		200						200								

（※）「選択科目」を複数受験した場合は、最高得点の1科目を採用します。
ただし、『地理歴史、公民』は第1解答科目を対象とし、『理科』は「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目（「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目）を対象とします。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等（配点 800）

	1 小論文〔配点200〕 2 実技（68ページ参照）〔配点600〕
配点合計	1400

選抜方針	<p>地域創造学環では、地域社会が抱えている様々な問題に対処し、地域社会をより活力にあふれた魅力的なものにするための課題に取り組むことができる人を育てることを目指します。志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての教科学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査：小論文では、アートやスポーツと地域社会とのかわりについての問題意識、論理展開力、表現力などを総合的に判断します。実技では、創造力、表現力（選抜方法B）、基礎的・複合的運動能力（選抜方法C）等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p>
備考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

2 選抜方法等（後期日程）

後期 - (1)

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	社会学科
募集人員	8名

後期日程

選 抜 方 法 等
人文社会科学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 600)																					
6 教科 7 科目 (地理歴史または公民を 2 科目選択した場合は、5教科 7科目)																					
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語												
	地理歴史, 公民		①	②	①	②															
国語	世界史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	政治・経済	倫理	倫理	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	2つ選択				必須	1つ選択		1つ選択 (※) [「基礎付き科目」は2科目で1つとします。]				1つ選択									
配 点	100		100×2		50	50		50				150									
(※) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。																					
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 200)																					
○ 小論文 [配点200]																					
配点合計	800																				

選抜方針	<p>人間社会や文化を現代的、歴史的な観点(哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学)から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し、そのための能力、学力、適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 社会学科において学ぶための基本となる読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力、論理的思考力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を150点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。

後期 - (2)

後期日程
選抜方法等

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	言語文化学科
募集人員	12名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 750)																	
6教科7科目 (地理歴史または公民を2科目選択した場合は、5教科7科目)																	
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語								
	地理歴史, 公民		①	②	①	②											
国語	世界史A	日本史B	現代社会	政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	簿記・会計基礎	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地理基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	2つ選択			必須	1つ選択		1つ選択 (※) [「基礎付き科目」は2科目で1つとします。]		1つ選択								
配 点	200		100×2		50	50		50		200							
(※) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。																	
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 300)																	
○ 小論文 [配点300]																	
配点合計	1050																

選抜方針	<p>従来の文学、語学の領域にとどまらず、言語によって表現されるあらゆる文化事象を教育研究の対象とする方針の下で、言語と文化に関する深い専門性と学際的・国際的な視野、及び外国語の実践的能力を兼ね備えた人材を育成することを目指し、そのための学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：言語文化学科において学ぶために必要な文章の読解力や表現力、論理的思考能力、芸術・文化的感性などが備わっているかを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。

後期 - (3)

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	法 学 科
募集人員	18名

後 期 日 程

選 抜 方 法 等
人 文 社 会 科 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 600)																								
6 教科 7 科目 (地理歴史を2科目選択した場合は、5教科7科目)																								
国語	地理歴史			公民		数 学			理 科		外国語													
	地理歴史, 公民			①	②	①	②																	
国	世	日	地	現	倫	政	倫	数	簿	情	物	化	生	地	物	化	生	地	英	ド	フ	中	韓	
語	界	本	理	代	治	理	理	学	学	報	理	学	物	学					語	リ	ス	ニ	ン	グ
	史	史	史	社	会	経	経	学	記	関	基	基	基	基					語	リ	ス	ニ	ン	グ
	B	B	B	会	理	済	済	A	B	計	礎	礎	礎	礎	理	学	物	学	語	リ	ス	ニ	ン	グ
必須	2つ選択 〔地理歴史1科目を必ず含むこと。〕			必須		1つ選択			1つ選択 (※1) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		1つ選択													
配 点	100+100+50+50+50+50 (※2)										200													
<p>(※1) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。</p> <p>(※2) 『国語』『地理歴史, 公民』『数学』『理科』の配点(満点)は、得点率の和が最も大きい2科目を各100点、他の4科目を各50点として換算し直します。</p> <p>ただし、「得点率の和が最も大きい2科目」の選定に際しては、『地理歴史, 公民』第2解答科目は『地理歴史, 公民』第1解答科目との組み合わせにおいてのみ、考慮します。</p>																								
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																								
○ 小論文 [配点400]																								
配点合計	1000																							

選抜方針	<p>法学・政治学は、現代社会の理解を目的に、それに必要な法的・政治的な知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力などの修得を目指すものです。大学入学共通テスト・個別学力検査ではそれに要する学力・能力・適性等を、以下のように判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：法学科で実施する「小論文」では、特定の社会現象を記述した資料をもとに問いを発し、各受験生の解答を通して、各自の知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。

後期 - (4)

後期日程
選抜方法等

学 部	人文社会科学部 (昼間コース)
学 科	経済学科
募集人員	15名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 450)																										
6教科7科目 (地理歴史または公民を2科目選択した場合は、5教科7科目)																										
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語																	
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																				
国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	数	簿	情	物	化	生	地	物	化	生	地	英	ド	フ	中	韓
語	界	界	本	本	理	理	代	治	理	・	数	学	記	理	学	物	学	理	学	物	学	語	リ	ン	グ	を
	史	史	史	史	社	社	社	・	政	治	・	数	学	・	基	基	基	基	基	基	基	語	リ	ン	グ	を
	A	B	A	B	A	B	会	理	濟	濟	A	B	計	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	語	リ	ン	グ	を
必須	2つ選択						必須	1つ選択		1つ選択 (※) [「基礎付き科目」は2科目で1つとします。]						1つ選択										
配 点	100		50×2				50	50		50						100										
(※) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。																										
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 100)																										
○ 小論文 [配点100]																										
配点合計	550																									

選抜方針	<p>人々の経済活動は、現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで、その実態や理論を学び、経済問題への分析を深め、その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では、このような課題に取り組み、社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：経済学科で学ぶための基本となる問題意識、論理的思考力を小論文から総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 なお、同一順位者が合格点である場合には、同順位者すべてを合格者とします。</p> <p>4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <p>○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)</p> <p>○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を100点満点に換算します。</p> <p>○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』は、高等学校等での履修に関わらずこれらの科目を選択することができます。</p>

後期 - (5)

後期日程

学 部	教育学部	
課程・専攻等	学校教育教員養成課程	
	発達教育学専攻	初等学習開発学専攻
	教育実践学専修	
募集人員	2名	3名

選 抜 方 法 等
教 育 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は, 5教科 7 科目)																						
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語													
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																
国語	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 学	地 理 学	現 代 社 会	倫 理 学	倫 理 学	物 理 学	物 理 学	地 球 学	地 球 学	数 学 I	数 学 II	簿 記 学	情 報 関 係 基 礎	英 語	ド ラ マ	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕				必須	1つ選択	1つ選択															
配 点	200		100×3		100	100	200															
<p>(※1) 『理科』は, 同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は, 『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて, 以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において, 「基礎付き科目」を受験した場合は, 『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において, 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 『理科』の第1解答科目に加えて, 『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																						
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																						
○ 面接 (小論文を含む) [配点400]																						
配点合計	1300																					

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として, 教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに, 変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け, 他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し, そのために必要となる能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 教職への志向性・意欲, 表現力, 思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は, 不合格となります。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

後期 - (6)

後 期 日 程	学 部	教育学部	
	課程・専攻等	学校教育教員養成課程	
		養護教育専攻	特別支援教育専攻
募集人員	4名	5名	

選 拔 方 法 等	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
	6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は, 5教科 7 科目)																						
	国語	地理歴史		公民		理科		数 学		外国語													
		地理歴史, 公民		①		②		①		②													
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 球 理 学 物 理 学	物 理 学 物 理 学	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド ラ マ ・ ツ ツ	フ ラ ン ス 語	中 国 語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕					必須	1つ選択	1つ選択															
配 点	200	100×3					100	100	200														
	(※1) 『理科』は, 同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。 この組み合わせで受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の 1科目のみを有効とします。 (※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は, 『地理歴史, 公民』の第1 解答科目に加えて, 以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験した場合は, 『理科』の科目と『地理歴史, 公民』 の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 『理科』の第1解答科目に加 えて, 『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																						
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																							
	○ 面接 (小論文を含む) [配点400]																						
配点合計	1300																						

選抜方針	豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として, 教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を 身につけるとともに, 変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続 け, 他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し, そのために必要となる 能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 教職への志向性・意欲, 表現力, 思考力等を総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者 から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は, 不合格となります。
備 考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してくだ さい。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算 します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程に おいてこれらの科目を履修した人に限ります。

後期 - (7)

後期日程

学 部	教育学部	
課程・専攻等	学校教育教員養成課程	
	教科教育学専攻	
	国語教育専修	社会科教育専修
募集人員	3名	6名

選 抜 方 法 等
教 育 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																											
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は, 5教科 7 科目)																											
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語																		
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																					
国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	物	化	生	地	物	化	生	地	数	学	簿	情	英	ド	フ	中	韓
語	界	界	本	本	理	理	代	治	理	理	学	物	学		学	学			学	簿	記	報	語	イ	ラ	国	国
	史	史	史	史	社	経	会	理	済	済	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	語	リスニングを含む	語	語	語
	A	B	A	B	A	B	会	理	済	済	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	語	語	語	語	語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕						必須	1つ選択		1つ選択																	
配 点	200		100×3				100		100		200																
	(※1) 『理科』は, 同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。 (※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は, 『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて, 以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験した場合は, 『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 『理科』の第1解答科目に加えて, 『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																										
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																											
	○ 面接 (小論文を含む) [配点400]																										
配点合計	1300																										

選抜方針	豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として, 教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに, 変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け, 他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し, そのために必要となる能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 教職への志向性・意欲, 表現力, 思考力等を総合的に判断します。																							
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は, 不合格となります。																							
備 考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。																							

後期 - (8)

後 期 日 程	学 部	教育学部
	課程・専攻等	学校教育教員養成課程
		教科教育学専攻
		数学教育専修
募集人員	3名	

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																							
	6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は, 5 教科 7 科目)																							
	国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語														
		地理歴史, 公民		①		②		①		②														
	国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 理 A	地 理 理 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済 理 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済 理 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 球 理 学 物 理 学	物 理 学 物 理 学	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド ラ マ ・ ツ ッ ス	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
	必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕						必須	1つ選択	1つ選択														
配 点	200	100×3						100	100	200														
	(※1) 『理科』は, 同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。 この組み合わせで受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の 1科目のみを有効とします。 (※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は, 『地理歴史, 公民』の第1 解答科目に加えて, 以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験した場合は, 『理科』の科目と『地理歴史, 公民』 の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 『理科』の第1解答科目に加 えて, 『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																								
	○ 数学(数学Ⅲ) [配点400]																							
配点合計	1300																							

選抜方針	豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として, 教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を 身につけるとともに, 変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続 け, 他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し, そのために必要となる 能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 教職への志向性・意欲, 表現力, 思考力等を総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者 から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は, 不合格となります。
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してくだ さい。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算 します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程に おいてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査『数学Ⅲ』は「数学I, 数学II, 数学A, 数学B」の履修を前提とした「数学Ⅲ」 の分野とします。

学 部	教育学部	
課程・専攻等	学校教育教員養成課程	
	教科教育学専攻	
	理科教育専修	家庭科教育専修
募集人員	8名	3名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																															
6 教科 7 科目 (地理歴史または理科を 2 科目選択した場合は, 5教科 7 科目)																															
国語	地理歴史		公 民		理 科		数 学		外国語																						
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																									
国語	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理	地 理	倫 理	倫 理	政 治	政 治	経 済	経 済	物 理	物 理	化 学	化 学	生 物	生 物	地 学	地 学	数 学	数 学	簿 記	簿 記	情 報 関 係 基 礎	情 報 関 係 基 礎	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
必須	A	B	A	B	A	B	会 社	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済	理 済
配 点	200		100×3				100	100	200																						
(※1) 『理科』は, 同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は, 「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。 (※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は, 『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて, 以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験した場合は, 『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において, 「基礎付き科目」を受験しなかった場合は, 『理科』の第1解答科目に加えて, 『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																															
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																															
○ 面接 (小論文を含む) [配点400]																															
配点合計	1300																														

選抜方針	豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として, 教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに, 変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け, 他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し, そのために必要となる能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 教職への志向性・意欲, 表現力, 思考力等を総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は, 不合格となります。
備 考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

後期 - (10)

後
期
日
程

選
抜
方
法
等

教
育
学
部

学 部	教育学部
課程・専攻等	学校教育教員養成課程
	教科教育学専攻
	美術教育専修
募集人員	4名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																		
6教科7科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																		
国語	地理歴史		公民		理科		数 学		外国語									
	地理歴史, 公民		①	②	①	②												
国語	世界史	日本史	地理	現代社会	倫理・政治・経済	倫理	政治・経済	物化生	物化生	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	3つ選択 (※1・2) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕						必須	1つ選択	1つ選択									
配 点	200	100×3						100	100	200								
<p>(※1) 『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>(※2) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																		
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 600)																		
○ 面接 (小論文を含む) [配点600]																		
配点合計	1500																	

選抜方針	<p>豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：教職への志向性・意欲、表現力、思考力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p>
備 考	<p>【注】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

学 部	情報学部
学 科	情報科学科
募集人員	30名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 850)														
5教科7科目														
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語					
	地理歴史, 公民		①	②	①	②								
国語	世界史A	日本史B	現代社会	政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	地物化生	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※1)			必須	1つ選択				2つ選択		1つ選択			
配 点	150		50		100	100			100+50(※2)		300			
(※1) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。 (※2) 『理科』の配点は, 第1解答科目を100点とします。														
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)														
○ 数学 (数学I・数学II・数学III・数学A・数学B) [配点400]														
配点合計	1250													

選抜方針	<p>人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に, a. 計算機科学の基礎となる理論や技術, b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術, c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム, d. 音声や画像, 自然言語などのメディア処理とその応用, e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し, そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力, 理解力, 記述力などを総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点, 「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点に換算)を300点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。

後期 - (12)

後期日程	学部	情報学部																		
	学科	情報社会学科																		
	募集人員	23名																		
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)																			
	6教科7科目(地理歴史を2科目選択した場合は、5教科7科目)																			
	国語	地理歴史		公民		数学		理科		外国語										
		地理歴史, 公民		①	②	①	②													
	国語	世界史	日本史	地理	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理学基礎	地学基礎	生物学基礎	物理学基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	必須	2つ選択 〔公民から2科目は選択できません。〕		必須	1つ選択		1つ選択(※2) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		1つ選択						1つ選択					
	配点	150		100+50(※1)		100		100		50						150				
(※1) 配点は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目を100点とし、第2解答科目を50点とします。 (※2) 『理科』を2科目受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目(「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、「基礎なし科目」の第1解答科目)を採用します。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 500)																				
○ 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 〔配点500〕																				
配点合計	1200																			
選抜方針	高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、表現力、問題発見能力などを総合的に判断します。																			
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。																			
備考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点に換算)を150点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。																			

後期 - (13)

学 部	情報学部
学 科	行動情報学科
募集人員	20名

後期日程

選抜方法等
情報学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																				
6教科7科目 (地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目)																				
国語	地理歴史		公民		理 科		数 学		外国語											
	地理歴史, 公民		①	②	①	②														
国語	世界史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	政治経済	倫理	政治・経済	物化学基礎	生物基礎	地学基礎	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	3つ選択 (※) 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕							必須	1つ選択	1つ選択										
配 点	150		100×3		100		100		250											
(※) 『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。 ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 ・『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 400)																				
○ 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 〔配点400〕																				
配点合計	1300																			

選抜方針	高度情報化社会の下で、個人や組織の行動主体の情報学研究や、ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では、情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、記述力などを総合的に判断します。
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が、ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を250点満点に換算します。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

後期 - (14)

後 期 日 程	学 部	理 学 部																					
	学 科	数 学 科																					
	募集人員	10 名																					
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
	5 教科 7 科目																						
	国語	地理歴史		公民		数 学			理 科		外国語												
		地理歴史, 公民				①	②		①	②													
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 理	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択											
	配 点	200		100		100	100			100×2		200											
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 500)																							
	1 数学 (数学I・数学II・数学III・数学A・数学B) [配点400] 2 調査書 [配点100]																						
配点合計	1400																						
選抜方針	現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも, それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 数学科において学ぶための基本となる理解力, 論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 (3) 学校の長が作成する調査書: 「特別活動の記録」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」の項目等について, これらの満点が書類審査の満点に占める割合を8割とし, 入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価し, 「取得資格, 検定等」「表彰・顕彰等の記録」の項目について, 高校卒業レベルを超える学術的なものがある場合には, その実績・活動に応じて評価し, これらを総合的に判断します。(「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても, 提出書類をもとに, これと同じ観点で総合的に判断します。)																						
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。																						
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては, 面接を実施します。																						

学 部	理 学 部
学 科	物理学科
募集人員	18 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)													
5 教科 7 科目													
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語				
	地理歴史, 公民		①	②	①	②							
国語	世界史 A	日本史 B	現代社会	政治・経済	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・関係基礎	物理 化学 生物 地学	英語 リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※)			必須	1つ選択			2つ選択	1つ選択				
配 点	200		100		100	100		100×2	200				
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。													
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 500)													
1 理科(物理) [配点400] 2 調査書 [配点100]													
配点合計	1400												

選抜方針	<p>物理学の基本となる力学, 電磁気学, 統計物理学, 量子力学などの科目を通じて, 物理学的な考え方や数学的手法を学び, 自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて, 社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 物理学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。</p> <p>(3) 学校の長が作成する調査書: 「特別活動の記録」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」の項目等について, これらの満点が書類審査の満点に占める割合を8割とし, 入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価し, 「取得資格, 検定等」「表彰・顕彰等の記録」の項目について, 高校卒業レベルを超える学術的なものがある場合には, その実績・活動に応じて評価し, これらを総合的に判断します。(「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても, 提出書類をもとに, これと同じ観点で総合的に判断します。)</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては, 面接を実施します。

後期 - (16)

後 期 日 程	学 部	理 学 部																					
	学 科	化 学 科																					
	募集人員	18 名																					
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																						
	5 教科 7 科目																						
	国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語													
		地理歴史, 公民				①	②	①	②														
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済 学	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済 学	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 理	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シ 語	フ ランス 語	中 国 語	韓 国 語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択											
	配 点	200		100				100	100			100×2		200									
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																							
	1 理科 (化学) [配点300] 2 小論文 [配点100]																						
配点合計	1300																						
選抜方針	理論化学, 無機化学, 分析化学, 有機化学, 生化学などの化学の幅広い理論や技術を学び, 自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 「理科 (化学)」では, 化学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを判断します。「小論文」では, そのほかに文章力・分析力・発想力など, 現代社会における問題の解決に必要な諸能力を総合的に判断します。																						
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。																						
備 考	【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。																						

選
抜
方
法
部
等

学 部	理 学 部
学 科	生物科学科
募集人員	20 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																
5 教科 7 科目																
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語							
	地理歴史, 公民		①	②	①	②										
国語	世界史 A	日本史 B	現代史 A	政治・経済 B	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※)			必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択						
配 点	200		100		100	100		100×2		200						
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																
1 理科(物理, 化学, 生物から1) [配点300] 2 調査書 [配点100]																
配点合計	1300															

選抜方針	<p>生物科学についての理論と技術を幅広く学び, 生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査: 生物科学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。</p> <p>(3) 学校の長が作成する調査書: 「特別活動の記録」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」の項目等について, これらの満点が書類審査の満点に占める割合を8割とし, 入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価し, 「取得資格, 検定等」「表彰・顕彰等の記録」の項目について, 高校卒業レベルを超える学術的なものがある場合には, その実績・活動に応じて評価し, これらを総合的に判断します。(「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても, 提出書類をもとに, これと同じ観点で総合的に判断します。)</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に可否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては, 面接を実施します。

後期 - (18)

後 期 日 程	学部	理学部																		
	学科	地球科学科																		
	募集人員	10名																		
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																			
	5教科7科目																			
	国語	地理歴史		公民		数 学			理 科		外国語									
		地理歴史, 公民				①	②		①	②										
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理歴史A	地理歴史B	政治経済A	政治経済B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択								
	配点	200	100				100	100			100×2		200							
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																				
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点 200)																				
	○ 小論文 [配点200]																			
配点合計	1100																			
選抜方針	地球科学についての理論と技術を幅広く学び, 地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 地球科学科において学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力や科学の方法に対する理解などを総合的に判断します。																			
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。																			
備考	【注】大学入学共通テストについて ○ 『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○ 『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○ 『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。																			

学 部	理 学 部
学 科	創造理学（グローバル人材育成）コース
募集人員	7名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（配点計 550）																						
5 教科 7 科目																						
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語													
	地理歴史, 公民		①	②	①	②																
国 語	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 史	地 理 史	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 球 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む	ド イ ッ シュ	フ ランス	中 国 語	韓 国 語
必 須	1つ選択（※）				必 須	1つ選択				2つ選択		1つ選択										
配 点	100		50		50	50				50×2		200										
（※）『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																						
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等（配点計 300）																						
1 次の（1）,（2）から, 1教科選択 [配点200] （1） 数学（数学I・数学II・数学III・数学A・数学B） （2） 理科（物理, 化学, 生物から1） 2 調査書 [配点100]																						
配 点 合 計	850																					

選 抜 方 針	<p>基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え, 英語による情報の収集と発信する力や国際感覚を持ち, 各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>（1）大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際して必要となる基礎学力, 特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。</p> <p>（2）個別学力検査: 創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力, 考察力などを総合的に判断します。</p> <p>（3）学校の長が作成する調査書: 「特別活動の記録」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」の項目等について, これらの満点が書類審査の満点に占める割合を8割とし, 入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価し, 「取得資格, 検定等」「表彰・顕彰等の記録」の項目について, 高校卒業レベルを超える学術的なものがある場合には, その実績・活動に応じて評価し, これらを総合的に判断します。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても, 提出書類をもとに, これと同じ観点で総合的に判断します。）</p>
判 定 方 法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査の「理科」の科目間及び個別学力検査の選択教科（数学, 理科）の間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては, 面接を実施します。 <p>【注3】創造理学（グローバル人材育成）コースは, 数学科・物理学科・化学科・生物学科・地球科学科一括で募集を行い, 各学科への配属は2年進級時になります。</p>

後期 - (20)

後 期 日 程	学部	工学部													
	学科	機械工学科													
	募集人員	50名													
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)														
	5教科7科目														
	国語	地理歴史			公民		数 学		理 科		外国語				
		地理歴史, 公民			①	②	①	②							
	国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 史 A	地 理 史 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 I ・ 数 学 A	数 学 II ・ 数 学 B	物 理 学	物 理 学	英 語 リ ス ニ ン グ を 含 む
	必須	1つ選択 (※)			必須	必須			必須	必須					
	配点	150	100			75	75			75×2	150				
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。															
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)															
	1 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) [配点400] 2 理科 (物理) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]														
配点合計	1700														
選抜方針	航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材, ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材, 光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。														
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への可否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。														
備 考	【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(80ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。 【注3】宇宙・環境コース, 知能・材料コース 及び 光電・精密コースへのコース分けを2年次末に行い, 各コースへの配属は, 3年次ははじめとなります。														

学 部	工 学 部
学 科	電 気 電 子 工 学 科
募集人員	30 名

後 期 日 程

選 抜 方 法 等

工 学 部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)									
5 教科 7 科目									
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語
	地理歴史, 公民		①	②	①	②			
国語	世界史 A	日本史 B	現代史 A	政治・経済 B	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	物理	化学	英語リスニングを含む
必須	1つ選択 (※)			必須	必須		必須	必須	
配 点	150	100		75	75		75×2	150	

(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)	
	1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400] 2 理科 (物理) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点200]
配点合計	1700

選抜方針	<p>現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は, 情報通信・情報処理, 生体医用技術, 光エレクトロニクス, 電気エネルギーの発生および有効利用, パワーエレクトロニクス, 電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。</p>
------	--

判定方法	<ol style="list-style-type: none"> 2段階選抜は行いません。 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。
------	--

備 考	<p>【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(80ページ参照)</p> <p>【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。</p> <p>【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。</p> <p>【注3】情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。</p>
-----	--

後期 - (22)

後 期 日 程	学 部	工 学 部														
	学 科	電子物質科学科														
	募集人員	47 名														
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)															
	5 教科 7 科目															
	国語	地理歴史			公民		数 学		理 科		外国語					
		地理歴史, 公民					①	②	①	②						
	国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	数	学	物	化	英
	界	界	本	本	理	理	代	治	理	・	政	治	・	理	学	語
	史	史	史	史	史	史	社	経	・	経	済	・	済	理	学	リ
語	A	B	A	B	A	B	会	理	済	済	学	A			ス	
															リ	
															ン	
															グ	
															を	
															含	
															む	
必須	1つ選択 (※)					必須	必須		必須	必須						
配 点	150	100					75	75		75×2	150					
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)																
	1 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) [配点400] 2 理科 (物理, 化学から1) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]															
配点合計	1700															
選抜方針	電子物質科学は, 現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで, 本学科では数学, 物理や化学の基礎学力があり, 日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。															
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。															
備 考	【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(80ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点 (「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点) を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『英語』は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。 【注3】電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。															

選
抜
方
法
部
等

学 部	工 学 部
学 科	化学バイオ工学科
募集人員	45 名

選 抜 方 法 等	工 学 部
	後 期 日 程

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)																		
5 教科 7 科目																		
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語									
	地理歴史, 公民				①	②	①	②										
国	世 界 史	世 界 史	日 本 史	日 本 史	地 理 理 史	地 理 理 史	現 代 社 会	倫 理 治 理 経 済	倫 理 治 理 経 済	数 学 I 数 学 A	数 学 II 数 学 B			物 理 学	物 理 学	英 語 リスニングを含む		
語	A	B	A	B	A	B												
必須	1つ選択 (※)				必須	必須			必須	必須								
配 点	150	100				75	75			75×2	150							

(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)	
	1 数学 (数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B) [配点400] 2 理科 (物理, 化学から1) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III, 英語表現 I・英語表現 II) [配点200]
配点合計	1700

選抜方針	<p>化学バイオ工学科では, 光機能物質, 生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や, 環境化学, 化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また, 化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより, 研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において, 責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では, そのために必要な能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。</p>
------	---

判定方法	<ol style="list-style-type: none"> 2段階選抜は行いません。 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。
------	--

備 考	<p>【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(80ページ参照)</p> <p>【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。</p> <p>【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『英語』は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。</p> <p>【注3】環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は, 2年次ははじめとなります。</p>
-----	---

後期 - (24)

後 期 日 程	学部	工学部										
	学科	数理システム工学科										
	募集人員	16名										
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 700)											
	5教科7科目											
	国語	地理歴史			公民		数 学		理 科		外国語	
		地理歴史, 公民			①	②	①	②				
	国	世	世	日	日	地	地	現	倫	政	倫	英
	界	界	本	本	理	理	代	治	理	物	語	
	史	史	史	史	社	社	会	理	理	理		リ
語	A	B	A	B	A	B	学	学	学	ス		
必須	1つ選択 (※)			必須	必須			必須	必須		必須	
配点	150	100			75	75			75×2	150		
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。												
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 1000)												
	1 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) [配点400] 2 理科 (物理, 化学から1) [配点400] 3 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) [配点200]											
配点合計	1700											
選 抜 方 法	数理システム工学科では, 数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎, そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により, 「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており, そのための能力・学力・適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査: 工学を学ぶための基本となる論理的思考力, 表現力などを総合的に判断します。 なお, 「英語」の一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する英語問題を通じて, これから生きる工学者としての素養 (工学的素養) を判断します。											
判 定 方 法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への可否を決定します。 第1志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第2志望と第3志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。											
備 考	【第1, 第2, 第3志望】工学部では第3志望まで学科を選択できます。(80ページ参照) 【注1】大学入学共通テストについて ○『英語』は, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。 (「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○『英語』は, 200点満点(「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点)を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を150点満点とします。 【注2】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」と「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○「英語」は, 一部を工学部独自の問題とし, 科学技術に関する問題を出題します。											

学 部	農 学 部
学 科	生物資源科学科
募集人員	25 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)																
5 教科 7 科目																
国語	地理歴史		公民		数 学		理 科		外国語							
	地理歴史, 公民		①	②	①	②										
国語	世界史 A	日本史 B	現代社会	政治・経済	数学 I・数学 A	数学 II・数学 B	簿記・関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	1つ選択 (※)			必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択						
配 点	200		100		100	100		100×2		200						
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。																
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)																
○ 理科 (物理, 化学, 生物から1) [配点300] ○ 調査書 [配点100]																
配点合計	1300															

選抜方針	<p>人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し, 持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を, 次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査 (理科): 農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力, 論理的思考力などを総合的に判断します。</p> <p>(3) 学校の長が作成する調査書: 「出欠の記録」「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」について本学科の入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価します。「表彰・顕彰等の記録」については学術的なものを中心に評価し, 「特別活動の記録」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「取得資格, 検定等」について, 実績, 活動において評価します。(「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においては, 本学科の入学を期待する学生像に照らし合わせて, 主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに, 資格, 学術的な表彰の実績等について, 提出書類をもとに評価します。)</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定: 志願者の中から, あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。</p> <p>5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。</p>
備 考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○ 『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○ 『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 <p>【注2】個別学力検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○ 『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○ 『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○ 高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては, 面接を実施します。 <p>【注3】本学科の入学を期待する学生像について</p> <p>自然科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し, 人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決, 持続可能な生物生産技術の開発に強い意欲を持つ人の入学を期待します。</p>

後期 - (26)

後 期 日 程	学部	農学部													
	学科	応用生命科学科													
	募集人員	20名													
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目 (配点計 900)														
	5教科7科目														
	国語	地理歴史		公民		数 学			理 科		外国語				
		地理歴史, 公民				①	②		①	②					
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地理	英語リスニングを含む ドイツ語 フランス語 中国語
	必須	1つ選択 (※)				必須	1つ選択			2つ選択		1つ選択			
	配点	200		100		100	100			100×2		200			
(※) 『地理歴史, 公民』を2科目受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。															
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等 (配点計 400)															
	○ 理科 (物理, 化学, 生物から1) [配点300] ○ 面接 [配点100]														
配点合計	1300														
選抜方針	人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し, 持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を, 次の各試験において判断します。 (1) 大学入学共通テスト: 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 (2) 個別学力検査 (理科): 農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力, 論理的思考力などを総合的に判断します。 (3) 面接: 思考力, 判断力, 表現力, 自ら学び成長していく意欲等を総合的に判断します。														
判定方法	1 2段階選抜は行いません。 2 総合点判定: 志願者の中から, あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。 3 同点者の取扱い: 個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4 特定の科目等が, ある得点以下又は0点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 5 得点調整: 個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では, 個別学力検査「理科」の科目間で, 原則として20%以上の平均点差が生じ, これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合, 得点調整を行います。														
備考	【注1】大学入学共通テストについて ○ 『英語』を選択する場合には, 「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。) ○ 『英語』を選択した場合は, 「リーディング」を150点満点, 「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は, 「リーディング」を200点満点とします。 ○ 『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は, 高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。 【注2】個別学力検査について ○ 『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○ 『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○ 『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。														

選
抜
方
法
等

農
学
部

後期 - (27)

学部等	地域創造学環（教育プログラム）〔全学一括募集〕
コース	全コース
募集人員	5名

後期日程

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（配点計 900）																	
6教科7科目（地理歴史または理科を2科目選択した場合は、5教科7科目）																	
国語	地理歴史		公民		理科		数学		外国語								
	地理歴史, 公民		①	②	①	②											
国語	世界史A	日本史B	現代社会	政治経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	英語リスニングを含む	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
必須	3つ選択（※1・2） 〔公民から2科目は選択できません。〕 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕						必須	1つ選択	1つ選択								
配点	200		100×3				100	100	200								
<p>（※1）『理科』は、同一名称を付した科目の組み合わせ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組み合わせで受験した場合は、「基礎付き科目」と「基礎なし科目」のうちから高得点の1科目のみを有効とします。</p> <p>（※2）『地理歴史, 公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は、『地理歴史, 公民』の第1解答科目に加えて、以下に示す2科目の計3科目を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『理科』において、「基礎付き科目」を受験した場合は、『理科』の科目と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の2科目を対象とします。 『理科』において、「基礎付き科目」を受験しなかった場合は、『理科』の第1解答科目に加えて、『理科』と『地理歴史, 公民』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を対象とします。 																	
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等（配点 400）																	
<p>1 小論文〔配点200〕</p> <p>2 面接〔配点200〕</p>																	
配点合計	1300																

選抜方法等

選抜方針	<p>地域創造学環では、地域社会が抱えている様々な問題に対処し、地域社会をより活力にあふれた魅力的なものにするための課題に取り組むことができる人を育てることを目指します。志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。</p> <p>(1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての教科学力の達成度を判断します。</p> <p>(2) 個別学力検査：小論文では、考察力、論理的思考力、文章表現力などを総合的に判断します。面接では、思考力、判断力、表現力等を総合的に判断します。</p>
判定方法	<p>1 2段階選抜は行いません。</p> <p>2 総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。</p> <p>3 同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。</p> <p>4 合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に0点がある場合は、不合格となります。</p>
備考	<p>【注1】大学入学共通テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」を200点満点とします。 ○『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択できる人は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限ります。

3 教育学部実技検査

【 前期日程 】

学校教育教員養成課程 教科教育学専攻																						
音楽教育専修	<p>次の a, b の組み合わせで受験してください。 なお、演奏はすべて暗譜で行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>ピアノ</td> <td> <p>ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から、任意の1つの楽章を選択し演奏してください。 (暗譜演奏の上、繰り返しは省略すること、)</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">b</td> <td rowspan="4">声楽</td> <td> <p>次の3曲から1曲を選択し、()内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は、本学で用意します。</p> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>0 cessate di piagarmi</td> <td>(ト短調, ホ短調)</td> <td>Alessandro Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浜千鳥</td> <td>(変ホ長調, ハ長調)</td> <td>弘田竜太郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>浜辺の歌</td> <td>(変イ長調, ヘ長調)</td> <td>成田為三</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>※実技試験の実施に当たっては、徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めますが、感染症の拡大状況によっては、飛沫感染の懸念される歌唱の試験を対面では実施せず、演奏している様子を撮影した動画の提出等で代替することもあります。詳細は、本学学部入試ウェブサイト (https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/) に後日掲載します。</p> </td> </tr> </table>	a	ピアノ	<p>ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から、任意の1つの楽章を選択し演奏してください。 (暗譜演奏の上、繰り返しは省略すること、)</p>	b	声楽	<p>次の3曲から1曲を選択し、()内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は、本学で用意します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>0 cessate di piagarmi</td> <td>(ト短調, ホ短調)</td> <td>Alessandro Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浜千鳥</td> <td>(変ホ長調, ハ長調)</td> <td>弘田竜太郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>浜辺の歌</td> <td>(変イ長調, ヘ長調)</td> <td>成田為三</td> </tr> </table>	1	0 cessate di piagarmi	(ト短調, ホ短調)	Alessandro Scarlatti	2	浜千鳥	(変ホ長調, ハ長調)	弘田竜太郎	3	浜辺の歌	(変イ長調, ヘ長調)	成田為三	<p>※実技試験の実施に当たっては、徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めますが、感染症の拡大状況によっては、飛沫感染の懸念される歌唱の試験を対面では実施せず、演奏している様子を撮影した動画の提出等で代替することもあります。詳細は、本学学部入試ウェブサイト (https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/) に後日掲載します。</p>	
	a	ピアノ	<p>ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から、任意の1つの楽章を選択し演奏してください。 (暗譜演奏の上、繰り返しは省略すること、)</p>																			
b	声楽	<p>次の3曲から1曲を選択し、()内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は、本学で用意します。</p>																				
		<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>0 cessate di piagarmi</td> <td>(ト短調, ホ短調)</td> <td>Alessandro Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浜千鳥</td> <td>(変ホ長調, ハ長調)</td> <td>弘田竜太郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>浜辺の歌</td> <td>(変イ長調, ヘ長調)</td> <td>成田為三</td> </tr> </table>	1	0 cessate di piagarmi			(ト短調, ホ短調)	Alessandro Scarlatti	2	浜千鳥	(変ホ長調, ハ長調)	弘田竜太郎	3	浜辺の歌	(変イ長調, ヘ長調)	成田為三						
		1	0 cessate di piagarmi	(ト短調, ホ短調)	Alessandro Scarlatti																	
		2	浜千鳥	(変ホ長調, ハ長調)	弘田竜太郎																	
3	浜辺の歌	(変イ長調, ヘ長調)	成田為三																			
<p>※実技試験の実施に当たっては、徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めますが、感染症の拡大状況によっては、飛沫感染の懸念される歌唱の試験を対面では実施せず、演奏している様子を撮影した動画の提出等で代替することもあります。詳細は、本学学部入試ウェブサイト (https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/) に後日掲載します。</p>																						
美術教育専修	<p>鉛筆による静物デッサン (モチーフとして、質感の異なる2つの物が配置されています。)</p> <p>〔注〕 鉛筆(色鉛筆を除く)と消し具(練り消しゴム等)を持参してください。 試験に用紙の種類は画用紙(八つ切)で、本学が用意します。</p>																					
保健体育教育専修	<p>器械、陸上、ボール及び表現の各運動領域における技能について検査します。</p> <p>〔注〕 1 検査に適する運動着を着用し、試技を行う運動着の胸と背の両方にゼッケン(20cm×20cmの白布を用意し、受験番号を黒書)をつけてください。 ただし、ゼッケンをつける際の安全ピンの使用は禁止します。 なお、試技用、防寒用ともに出身校や氏名が特定できる服装は使用できません。</p> <p>2 運動靴は、屋内用と屋外用を用意してください。どの種目でもスパイクシューズは使用できません。</p>																					

4 地域創造学環（教育プログラム）実技検査

【 前期日程 】

地域創造学環(教育プログラム)〔全学一括募集〕	
選抜方法B (アート系)	<p>与えられたモチーフを自由に構成し、デッサンします。</p> <p>なお、当日配付の別紙にタイトルと描き上げた作品に関する記述（400字以内）をし、提出してください。</p> <p>〔注〕鉛筆（色鉛筆を除く）と消し具（練り消しゴム等）を持参してください。 試験に使われる用紙の種類は画用紙（四つ切）で、本学が用意します。</p>
選抜方法C (スポーツ系)	<p>基礎的かつ複合的な運動能力についての検査を行います。</p> <p>〔注〕 1 検査に適する運動着を着用し、試技を行う運動着の胸と背の両方にゼッケン（20cm×20cmの白布を用意し、受験番号を黒書）をつけてください。 ただし、ゼッケンをつける際の安全ピンの使用は禁止します。 なお、試技用、防寒用ともに出身校や氏名が特定できる服装は使用できません。</p> <p>2 運動靴は、屋内用と屋外用を用意してください。 どの種目でもスパイクシューズは使用できません。</p>

VI 個別学力検査等の日時・試験時間割及び試験場

【前期日程】

試 験 日		令和4年2月25日(金)									
試験時間割		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
人文社会科学部	昼間コース			小論文 10:30～11:30			英語 13:00～14:20		国語 15:20～16:40		
				小論文 10:30～11:30			英語 13:00～14:20		国語 15:20～16:40		
							英語 13:00～14:20		国語 15:20～17:15		
							英語 13:00～14:20		国語 15:20～17:15		
教育学部	学校教育 教員養成課程		数 学 9:00～10:20		小論文 11:00～11:40		英語 13:00～14:20		国語 15:20～16:40		
					小論文 11:00～11:40		実 技（音楽教育） 13:30～				
					小論文 11:00～11:40		実 技（美術教育） 13:30～15:30				
					小論文 11:00～11:40		実 技（保健体育教育） 13:30～				
情報学部	情報科学科		数 学 9:30～11:30				英語 13:00～14:40				
	情報社会学科		小論文 9:30～11:30				英語 13:00～14:20				
	行動情報学科		総 合 9:30～11:30				英語 13:00～14:20				
理学部	数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 創造理学（グローバル人材育成）コース		数 学 9:50～11:50					理 科 13:50～15:10			
	生 物 科 学 科 地 球 科 学 科		数 学 9:50～11:10				理 科 13:50～15:10				
工学部	全 学 科		数 学 9:20～11:20			英 語 12:30～13:50		理 科 14:40～16:00			
農学部	全 学 科		数 学 9:50～11:10					理 科 13:50～15:10			
地域創造学環（教育プログラム）	選抜方法A（文理融合系）		数 学 9:50～11:10			英 語 13:00～14:20		理 科 13:50～15:10	国 語 16:00～17:20		
	選抜方法B（アート系）	実 技（選抜方法B〔アート系〕） 9:00～12:00						小論文 14:00～15:00			
	選抜方法C（スポーツ系）	実 技（選抜方法C〔スポーツ系〕） 9:00～						小論文 14:00～15:00			

《 試 験 場 (前期日程) 》

学 部 等	試 験 会 場	交 通 機 関
人 文 社 会 学 部	静岡キャンパス 静岡市駿河区大谷836	<しずてつジャストラインバス> 美和大谷 (みわおおや) 線 J R 東海 静岡駅北口バスターミナル⑧番Bのりばから 『静岡大学』行き → 「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 東大谷』行き → 「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「静岡大学」 下車 上記以外の『東大谷』行き → 「片山」 下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「片山」 下車 ○ バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約5分～15分 「片山」 下車：試験場まで徒歩約15分～25分
教 育 学 部		
理 学 部		
農 学 部		
地 域 創 造 学 環 (教育プログラム)		
情 報 学 部	浜松キャンパス 浜松市中区城北3-5-1	<遠鉄バス> JR東海 浜松駅北口バスターミナル⑮又は⑯番のりばから 『気賀・三ヶ日・奥山』行き等 (全路線) → 「静岡大学」 下車 ○ 全所要時間：約20分
工 学 部		

《 個別学力検査受験上の注意 》

- (1) 人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部及び地域創造学環（教育プログラム）は、『静岡キャンパス』で個別学力検査等を実施します。情報学部及び工学部は、『浜松キャンパス』で個別学力検査等を実施します。受験する学部等の試験会場以外では受験できませんので、試験場を間違えないように注意してください。
- (2) 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。
- (3) 試験当日には、本学の『受験票・写真票』とともに、『大学入学共通テスト受験票』を必ず持参してください。
- (4) 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時刻に間に合わない場合は、直ちに、静岡大学入学試験事務室（電話054-238-4464, 4465）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。
- (5) 試験開始後30分以上の遅刻者は受験を認められません。ただし、志望する学部より別途指示がある場合にはこの限りではありません。なお、上記（4）による遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
- (6) 試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺で「合否至急電話」等の受付をしますが、これらの行為は、本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。
- (7) 地震等の災害、天候不良及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。措置の詳細については、本学のウェブサイト等に発表しますので注意してください。
- (8) 試験中不正行為があった受験者には、受験を停止し、試験を無効とします。
- (9) 受験時の定規の持ち込みは禁止されています。受験時に机の上に置いている場合には不正行為とみなされますのでご注意ください。

< 教育学部受験上の注意 >

教育学部の【実技検査】は、受験者数によって、試験時間が変更になる場合があります。なお、試験時間の変更については、受験票の送付（2月10日頃）の際に併せて通知します。

【後期日程】

試験日		令和4年3月12日(土)									
試験時間割		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
人文 社会 科学部	昼間 コース 全 学 科			小論文 10:00～11:30							
						数学 (数学) 12:20～13:40					
教育 学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	面接(小論文を含む) (実践,開発,養護,特別支援,国語,社会,理科,美術,家庭) 9:00～									
						数 学 12:20～14:20			英 語 15:10～16:30		
情報 学部	情 報 科 学 科 情 報 社 会 学 科 行 動 情 報 学 科										
理 学 部	数 学 科 物 理 学 科 生 物 科 学 科 化 学 科 地 球 科 学 科 創 造 理 学 (グ ロ ー バ ル 人 材 育 成) コ ー ス		面接※ 9:40～			数 学 12:20～14:50					
			理 科 9:40～11:00			面 接 ※ 12:20～					
			理 科 9:40～11:00			小 論 文 12:20～13:40					
			小 論 文 9:40～11:00								
			理 科 9:40～11:00			数 学 12:20～14:20			面 接 ※ 15:30～		
工 学 部	全 学 科		理 科 9:40～11:00			数 学 12:20～14:20			英 語 15:10～16:30		
農 学 部	生 物 資 源 科 学 科 応 用 生 命 科 学 科		理 科 9:40～11:00			面 接 ※ 12:20～					
			理 科 9:40～11:00			面 接 12:20～					
地 域 創 造 学 環 (教 育 プ ロ グ ラ ム)			小 論 文 9:30～10:50			面 接 12:00～					

※理学部数学科，物理学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース及び農学部生物資源科学科の「面接」は，「学校の長が作成する調査書」が得られない受験者のみ実施します。

《 試 験 場 (後期日程) 》

学 部 等	試 験 会 場	交 通 機 関
人 文 社 会 学 部	静岡キャンパス 静岡市駿河区大谷836	<しずてつジャストラインバス> 美和大谷 (みわおおや) 線 J R 東海 静岡駅北口バスターミナル⑧番Bのりばから 『静岡大学』行き → 「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 東大谷』行き → 「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「静岡大学」 下車 上記以外の『東大谷』行き → 「片山」 下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「片山」 下車 ○ バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約5分～15分 「片山」 下車：試験場まで徒歩約15分～25分
教 育 学 部		
理 学 部		
農 学 部		
地 域 創 造 学 環 (教育プログラム)		
情 報 学 部	浜松キャンパス 浜松市中区城北3-5-1	<遠鉄バス> JR東海 浜松駅北口バスターミナル⑮又は⑯番のりばから 『気賀・三ヶ日・奥山』行き等 (全路線) → 「静岡大学」 下車 ○ 全所要時間：約20分
工 学 部		

《 個別学力検査受験上の注意 》

- (1) 人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部及び地域創造学環（教育プログラム）は、『静岡キャンパス』で個別学力検査等を実施します。情報学部及び工学部は、『浜松キャンパス』で個別学力検査等を実施します。受験する学部等の**試験会場以外では受験できません**ので、試験場を間違えないように注意してください。
- (2) 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。
- (3) 試験当日には、**本学の『受験票・写真票』とともに、『大学入学共通テスト受験票』を必ず持参してください。**
- (4) 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時刻に間に合わない場合は、直ちに、静岡大学入学試験事務室（電話054-238-4464, 4465）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。
- (5) 試験開始後30分以上の遅刻者は受験を認められません。ただし、志望する学部より別途指示がある場合にはこの限りではありません。なお、上記（4）による遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
- (6) 試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺で「合否至急電話」等の受付をしますが、これらの行為は、本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。
- (7) 地震等の災害、天候不良及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。措置の詳細については、本学のウェブサイト等に発表しますので注意してください。
- (8) 試験中不正行為があった受験者には、受験を停止し、試験を無効とします。
- (9) 受験時の定規の持ち込みは禁止されています。受験時に机の上に置いている場合には不正行為とみなされますのでご注意ください。

＜教育学部受験上の注意＞

- 1 教育学部の【面接】は、受験者数によって各専攻・専修ごとの終了時間が異なり、午後まで続くことがあります。この場合、午後の部は、昼食時間をはさんで適宜開始します。
- 2 【面接】の試験時間の変更については、受験票の送付（2月10日頃）の際に併せて通知します。

VII 合格発表

1 発表日時等

試験区分	発表日時	発表場所
前期日程	令和4年3月6日(日) 10時頃	静岡大学 共通教育L棟掲示板 (83ページの静岡キャンパスマップ参照)
後期日程	令和4年3月21日(月) 10時頃	

※ 情報学部及び工学部については、同日同時刻に浜松キャンパス構内の「学生支援棟玄関前」(84ページの浜松キャンパスマップ参照)にも掲示します。

2 発表方法

合格者の受験番号を学部・学科(課程・専攻・専修)ごとに掲示するとともに合格者本人に通知します。なお、電話・電報等の照会には一切応じません。

3 「合格者受験番号リスト」の提供

本学のウェブサイトにも「合格者受験番号リスト」を掲載します。閲覧できる期間は、合格発表日時から入学手続日までです。

※合格者であることは、必ず『合格通知書』で確認してください。

[学部入試URL] <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

VIII 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として、追加合格により欠員補充を行います。第2次募集により欠員補充を行うこともあります。

◆ 追加合格

- 1 令和4年3月28日（月）から該当者に対して、『出願確認票』に記載された「連絡先」へ電話により照会します。

入学の意志について、本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので、本人の所在を明らかにし、連絡の取れるようにしておいてください。

- 2 追加合格者の入学手続は、別途通知します。

◆ 欠員補充第2次募集

- 1 対象者：いずれの国公立大学にも入学手続をとっていない人で、《大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目等》を受験した人
- 2 選考方法：大学入学共通テストの成績、出願書類等により選考します。
- 3 募集方法：実施する場合は、令和4年3月28日（月）以降に本学のウェブサイト等で発表します。

[学部入試URL] <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

◆ 第2志望と第3志望学科入学手続者の取扱いについて

工学部では、第1志望学科に欠員が生じた場合、第2志望または第3志望学科に合格し入学手続をした人については、第1志望学科に変更することがあります。また、第2志望学科に欠員が生じた場合、第3志望学科に合格し入学手続をした人については、第2志望学科に変更することがあります。

志望学科変更の意志について、本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので、本人の所在を明らかにし、連絡の取れるようにしておいてください。

IX 出願手続

1 出願期間 《最終日の17時までの書類必着とします。》

前期日程	令和4年1月24日(月)～令和4年2月4日(金) 《最終日の17時までの書類必着とします。》 [ただし、2月3日(木)までの発信局消印のある書留速達郵便で、 2月5日(土)17時までには到着したものは受け付けます。]
後期日程	インターネット出願登録期間 令和4年1月17日(月)9時～令和4年2月4日(金)17時

2 出願方法

- (1) 静岡大学インターネット出願サイトにて、上記出願期間内に出願してください。
- (2) 出願書類を取り揃え、インターネットにて出願及び検定料の納入後に出力可能となる『出願封筒用宛名ラベル』を貼付した封筒(市販の角形2号封筒(240×332mm)、前期日程、後期日程それぞれ別封筒とする)により、上記期間内に必着するように【書留速達】で期日を指定するなどして、送付してください。

※検定料：17,000円

- (3) 書類不備のものは受け付けません。また、提出された書類は返却しません。
- (4) 出身学校で取りまとめて郵送する場合は、出願者毎、前期日程、後期日程それぞれの『出願封筒用宛名ラベル』を貼付した封筒に入れてください。

3 出願書類等 <郵送による提出が必要な出願関係書類>

1. インターネット出願サイトに登録後、出願サイトにて出力できる書類

1 出願確認票 (一般選抜用)	(1) インターネット出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 (2) 大学入学共通テスト成績請求票 前期日程は『 前 国公立前期日程用』を、後期日程は『 後 国公立後期日程用』を所定の欄に貼ってください。
2 受験票送付用 封筒宛名ラベル	(受験票返送用) 確実に受験票が受け取れる住所の宛名ラベルを使用(出願時に登録した住所以外への送付を希望する場合は、右のラベルへ住所等を記入)し、 <u>市販の長形3号の封筒(120×235mm)</u> に貼付し、354円分の切手を貼ってください。 ※封筒は封はしないこと。
3 出願封筒用宛名ラベル	(出願書類送付用) インターネット出願時に入力した内容と相違ないか確認し、出願書類及び注意事項を確認のうえ、市販の角形2号の封筒に貼付し、出願書類を入れて送付してください。

2. 本学学部入試ウェブサイトよりダウンロードして準備する書類

(学部入試サイト：<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html>)

1 「取得資格、検定等」、「表彰・顕彰等の記録」 (後期日程 理学部)	(後期日程：理学部数学科、物理学科、生物科学科、創造理学コースの志願者のうち、調査書の最終更新時より後に、高校卒業レベルを超える学術的な資格や表彰等を取得、受賞した者志願者本人が作成してください。 ※本書類の提出がない場合は、新たに申告する取得資格等がないものとみなします。
2 調査書の代わりに提出する書類 (後期日程 理学部) (後期日程 農学部)	(後期日程：理学部数学科、物理学科、生物科学科、創造理学コース農学部生物資源科学科の志願者のうち、高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により、「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者志願者本人が作成してください。

3. その他、出願に必要な書類（前期日程、後期日程両方に出願する場合はそれぞれに必要）

1 調査書等	<p>ア 在籍（又は在籍した）学校の長が令和3年4月以降に作成したもの 【注】封筒に入れ、必ず静岡大学長宛ての「親展」（開封無効）としてください。</p> <p>イ 廃校、被災その他の事情により在籍（又は在籍した）学校の長が作成する「調査書」が得られない場合は、調査書を準備できない理由書と卒業証明書・成績通信簿・その他、入学志願者が提出できる書類</p> <p>ウ 本人が被災した場合により上記イの書類を整えられない場合は、在籍（又は在籍した）学校を所管する教育委員会、知事又は在籍（又は在籍した）学校の長が作成したこれに関する証明書</p> <p>エ 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格証明書（又は合格証書のコピー）及び科目合格成績証明書</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験合格見込みの人は、調査書及び科目合格成績証明書又は令和3年度高等学校卒業程度認定試験を受験し、出願時が合格発表前である場合は、受験科目名を記載した任意の資料</p>
--------	---

◎ 出 願 先

出願先（郵送先）	担 当	電 話 番 号
〒422-8799 静岡南郵便局留 静岡大学入学試験事務室	学務部入試課	054-238-4464, 4465

※ 受験票・写真票についての注意

- (1) 受験票・写真票は、受理した志願票の記入事項を電子計算機に登録し作成します。
- (2) 受験票・写真票及び受験上の注意等を令和4年2月10日（木）頃、志願者あてに【速達】で郵送します。令和4年2月16日（水）までに届かない場合は、入試課まで連絡してください。
- (3) 届いた受験票・写真票の記載事項を確認し、誤り等があった場合は、入試課まで連絡してください。
- (4) 受験票・写真票の写真欄に写真（4 cm×3 cm、白黒・カラーいずれでも可）を貼って、試験日当日に持参してください。受験票・写真票は切り離さないでください。

※ 検定料等の返還等について

払込後の入学検定料及び入試情報開示手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1 検定料の返還請求ができる場合

- ①検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③出願書類，出願要件に不備があり，出願が受理されなかった場合
- ④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

2 返還する検定料等の金額

志願者本人の申し出により，上記1の①から③については17,000円，④については「静岡大学授業料等料金体系規則」に基づき，13,000円を返還します。インターネット出願時に入試情報開示手数料を併せて払い込んだ場合は，検定料の返還請求ができる場合のみ，検定料返還額に加えて600円を返還します。

なお，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。

3 返還請求の方法

上記1の①または②に該当する場合は，便せん等を使って，次の1～9を明記した検定料等返還請求書を作成して，必ず「インターネット出願 出願データ登録完了メール」または「入金確認メール」を印刷したものを添付して，令和4年2月25日(金) [必着] までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また，③の場合は出願書類返却時に，④の場合は出願無資格となった理由等の通知時に「検定料等返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料等返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 選抜区分（一般前期・一般後期）
- 3 整理番号
- 4 志望しようとした学部等名
- 5 氏名（フリガナ）
- 6 現住所
- 7 連絡先電話番号
- 8 返還請求額
- 9 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通），口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

<大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について>

大規模災害に被災した志願者の入学検定料等について，志願者からの免除申請に基づき入学検定料等の全額を免除します。詳しくは，静岡大学学部入試専用サイト(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>)をご覧ください。

教育学部 第2志望の選択に関する注意事項（前期日程）

教育学部は、A、B、Cの3つのグループに分かれています。

※Aグループは、受験している大学入学共通テストの教科・科目に関わらず、グループ内のすべての専攻、専修の中から第2志望を選択できます。

※B、Cグループは、第1志望のみで、第2志望の選択はできません。

学部	課程	専攻・専修		個別学力検査教科等		志望可能数	
				必須	選択		
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修	A	小論文	国語・数学・英語 から2	グループA の中で 第2志望まで
			教育心理学専修				
			幼児教育専修				
		初等学習開発学専攻					
		特別支援教育専攻					
		教科教育学専攻	国語教育専修				
			社会科教育専修				
			数学教育専修				
			理科教育専修				
			技術教育専修				
	家庭科教育専修						
	英語教育専修						
	養護教育専攻	B	小論文	国語・数学・英語 から2	第1志望のみ		
教科教育学専攻	音楽教育専修	C	実技（音楽）・小論文		第1志望のみ		
	美術教育専修		実技（美術）・小論文				
	保健体育教育専修		実技（保体）・小論文				

教育学部 実技検査種目

グループ	実技種目	実 技	
		必 須	選 択
C	音楽	ピアノ・声楽	
	美術	鉛筆による静物デッサン	
	保体	運動領域における技能検査	

工学部 第2志望, 第3志望学科の選択に関する注意事項

工学部は, 第1志望に加えて, 第2志望, 第3志望まで学科を選択できます。
 第2志望, 第3志望学科を選択する場合は, 下記の表の条件を確認のうえ選択してください。
 なお, 第1志望のみ, 第1志望と第2志望のみの出願もできます。

○=無条件で選択できます。
 △=条件を満たした場合, 選択できます。

[前期日程]

第1志望学科	第2志望学科			第3志望学科		
	学科名	出願可否	条件	学科名	出願可否	条件
機 械 工 学 科	電気電子工学科	○		電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	○		電気電子工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
電 気 電 子 工 学 科	機械工学科	○		電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	○		機械工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
電 子 物 質 科 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	○	
化 学 バイ オ 工 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	△	個別学力検査で『物理』又は『化学』を選択	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	△	個別学力検査で『物理』又は『化学』を選択	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	○	
数 理 シ ス テ ム 工 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
	電子物質科学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	○	

工学部 第2志望, 第3志望学科の選択に関する注意事項

工学部は、第1志望に加えて、第2志望、第3志望まで学科を選択できます。

第2志望、第3志望学科を選択する場合は、下記の表の条件を確認のうえ選択してください。

なお、第1志望のみ、第1志望と第2志望のみの出願もできます。

○＝無条件で選択できます。

△＝条件を満たした場合、選択できます。

[後期日程]

第1志望学科	第2志望学科			第3志望学科		
	学科名	出願可否	条件	学科名	出願可否	条件
機 械 工 学 科	電気電子工学科	○		電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	○		電気電子工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
電 気 電 子 工 学 科	機械工学科	○		電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	○		機械工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
電 子 物 質 科 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
				数理システム工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	○	
化 学 バイ オ 工 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				数理システム工学科	○	
	電子物質科学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	○	
	数理システム工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	○	
数 理 シ ス テ ム 工 学 科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	○	
				電子物質科学科	○	
				化学バイオ工学科	○	
	電子物質科学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	○	
	化学バイオ工学科	○		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	○	

☆ 学生生活

1 入学料・授業料の減免，給付奨学金

【修学支援新制度】

入学料・授業料減免及び給付奨学金支給を行う制度です。

(1) 申込みに係る要件

- ・日本国籍，法定特別永住者，永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
- ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ，進学した者であって，過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
- ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

(2) 学業などに係る要件

この支援制度の目的は，支援を受けた学生が大学等でしっかり学んだ上で，社会で自立し，活躍できるようになることです。

明確な進路意識と強い学びの意欲や進学後の十分な学修状況をしっかりと見極めた上で学生に対して支援を行います。

給付奨学金は，進学する前年の4月下旬から，高校などを通じて日本学生支援機構へ申し込むことができます。（月額，下記「3 日本学生支援機構奨学金」の「給付奨学金」を参照）

入学料・授業料減免は，入学時に，申し込みを行います。

文部科学省ウェブサイト <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460, 5611 (8:30～12:30, 13:30～17:15)

2 入学料の徴収猶予

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な人に対しては，本人の申請に基づき選考のうえ，入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460, 5611 (8:30～12:30, 13:30～17:15)

3 日本学生支援機構奨学金

学業成績が優秀で，経済的理由により修学困難な人には，申請に基づき選考のうえ，採用された場合は，日本学生支援機構から次の奨学金が貸与または給付されます。

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460, 5611 (8:30～12:30, 13:30～17:15)

貸	第一種奨学金 (令和元年度採用者月額実績)	30,000円・20,000円
		自宅通学 45,000円
		自宅外通学 51,000円・45,000円・40,000円
与	第二種奨学金 (返還時，年3%を上限とする利子付き)	月額2～12万円（1万円刻み）から選択できます。 (貸与期間中に必要に応じて貸与月額を変更することが可能です。)
給付奨学金		自宅通学 9,800円・19,500円・29,200円
		自宅外通学 22,300円・44,500円・66,700円
		給付月額は、家計収入により判定されます。

上記の他，財団・地方公共団体等の育英奨学団体があり，奨学金の貸与または給付の制度があります。

4 アパート・マンション ひとり暮らし

静岡大学生協生活協同組合が，静岡地区及び浜松地区のアパート・マンションを紹介しています。また，物件の情報は同生協ホームページにて公開されています。「入学準備説明会」や「アパート仮予約」に関する情報も後日公開します。（12月中旬ころ更新予定）

静大生のアパート・マンション情報はこちらのウェブサイトをごらんください。

静岡大学生協生活協同組合 アパート・マンション紹介サイト

<https://www.shizuokaunivcoop.com/>



<物件紹介先>

[静岡]住まい事業部 Tel 054-237-7067 (11:00～15:00 土日祝祭日休み)

[浜松]住まい事業部 Tel 053-412-5255 (11:00～16:15 土日祝祭日休み)

* 最新の営業時間は静岡大学生協ホームページにてご確認ください。

☆ 寮生募集

寮寮は、学生に対する経済援助だけでなく、集団生活を通じて社会人としての人間形成に資することを目的として設置されています。

静岡地区に片山寮（男子寮、女子寮）及び雄萌寮（男子）、浜松地区にあかつき寮（男子）及びあけぼの寮（女子、留学生）があり、それぞれ定員に空きがある場合に、入寮希望者を選考の上、入寮を許可します。

入寮を希望する人は、下記3の取得方法〔(1)または(2)のいずれか〕により、「入寮生募集要項」を取得してください。

※記載内容に変更が生じることがあります。学生寮の最新情報は本学ウェブサイトをご覧ください。

<手続き日程>

1. 要項取得期間 令和4年1月19日(水)～2月16日(水)
2. 入寮申込期間 令和4年2月14日(月)～2月25日(金) **消印有効**
3. 取得方法
 - (1) 上記1の要項取得期間中は、**本学ウェブサイト**から取得（印刷）可能です。
 - (2) ウェブサイトから取得できない場合は、以下のとおり、郵送にて請求してください。
請求する封筒の表に、必ず「**入寮生募集要項請求**」と朱書きして、**長形3号の返信用封筒**（縦23.5cm×横12cmの封筒に、入寮希望者の郵便番号・住所・氏名を明記し、94円切手を貼ったもの）を同封して、下記の請求先に郵送してください。
郵送による入寮生募集要項の請求は、2月16日(水)消印有効です。
※請求する封筒の裏面にも、入寮希望者の郵便番号・住所・氏名を明記してください。

(請求先)

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学 学務部 学生生活課（学寮担当）

TEL 054-238-4461

(注1) 入寮申し込み期限は、**令和4年2月25日(金)消印有効**です。

(注2) 応募書類として、**両親の所得証明書(市区町村発行のもの)**が必要です。

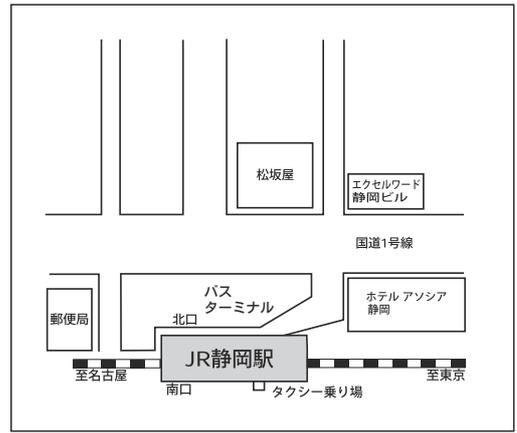
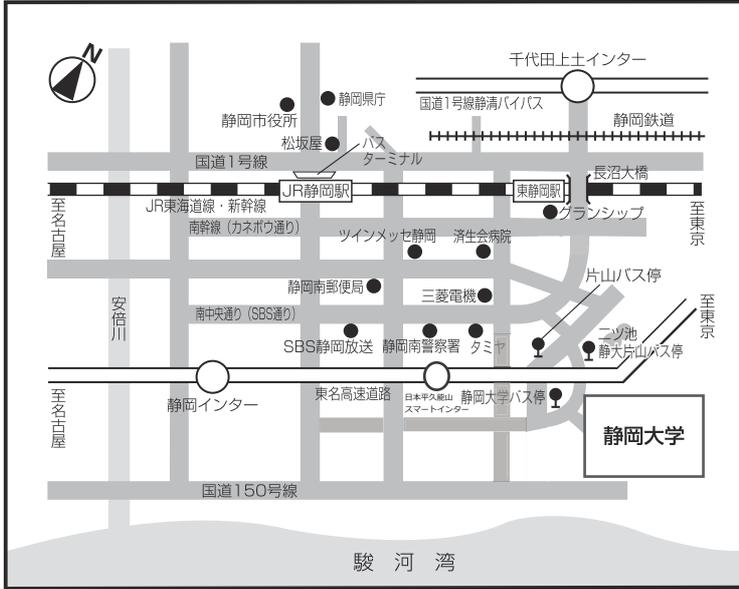
<学寮紹介>

所在地・立地	建物構造	通学	寮費(月額)	特色
〒422-8531 静岡市駿河区大谷836 静岡大学 片山寮 TEL 054-237-0100 大学の敷地内にあり、駿河湾を見下ろす日本平の西麓に位置し、風光明媚で通学に最適。	鉄筋コンクリート 5階建 収容人員 男子寮288名 女子寮228名 各室4人部屋 1室33㎡ 1人当たり約4.5畳	徒歩 10分	寄宿料 700円 食費(2食) 7,413円 公共料金 8,025円 (光熱水料・ネット料) 経常費 990円 寮食調理人件費 4,400円 合計 21,528円	男女共用の食堂を境にして、男子寮と女子寮とが別棟になっています。 寮自治会の運営により、入寮式・寮祭・卒寮式等の行事の他、寮内サークル等も活発に行われています。
〒422-8021 静岡市駿河区小鹿3-4-8 TEL 054-282-4259 市街地に隣接し、商店街・スーパー・飲食店・コンビニエンスストアなどが近く、交通至便。	鉄筋コンクリート 5階建 収容人員 男子のみ276名 各室4人部屋 1室33㎡ 1人当たり約4.5畳	徒歩 28分 自転車 12分 バス 15分	寄宿料 700円 公共料金 7,260円 (光熱水料・ネット料) 経常費他 610円 合計 8,570円 寮の食事はありません	旧制静岡高以来の寮の伝統を大切にしながらも、新しい発想と工夫で、雄萌寮ならではの寮風を築いています。 寮自治会の運営により入寮式等の行事が行われています。
〒432-8018 浜松市中区蛸塚3-22-1 TEL 053-453-0521 大学のグラウンド及びあけぼの寮に隣接し、近くに佐鳴湖がある閑静な住宅街で環境が良く、スーパーも近い。	鉄筋コンクリート 4階建 収容人員 男子のみ164名 各室2人部屋 1室15㎡ 1人当たり約4.5畳 (各室に机、椅子、ベッド、エアコンの設置あり)	徒歩 20分 自転車 10分	寄宿料 6,000円 食費(2食) 8,360円 光熱水料 5,300円 ネット料 1,700円 経常費他 640円 寮食調理人件費 2,000円 合計 24,000円 +自室の電気使用料	自由啓発を寮風に、自主的・民主的な寮生活は「やらまいか精神」の浜松にあつて、探求心を培う場ともなっています。 寮自治会の運営により、入寮式・卒寮式その他レクリエーション行事等が活発に行われ、強い人間関係も築かれています。
〒432-8018 浜松市中区蛸塚3-22-1 TEL 053-478-1670 (浜松学生支援課 学生支援係) 大学のグラウンド及びあかつき寮に隣接し、近くに佐鳴湖がある閑静な住宅街で環境が良く、スーパーも近い。	鉄筋コンクリート 5階建 収容人員 日本人女子46名 外国人留学生 (男女)44名 身体障害者1名 個室(1K)15㎡ (机、椅子、ベッド、トイレ浴室、ミニキッチン [IHコンロ]、冷蔵庫、エアコンの設置あり)	徒歩 20分 自転車 10分	寄宿料 15,000円 (共益費を含む) 光熱水料は各自契約 寮の食事はありません 退去時清掃費 19,440円	日本人女子学生と留学生が生活を通じて相互理解を深めるための寄宿舎です。1、2階は留学生男子、3～5階は留学生女子と日本人女子が入居する個室タイプです。

(注) 寮費の月額は、令和3年4月現在のものです。

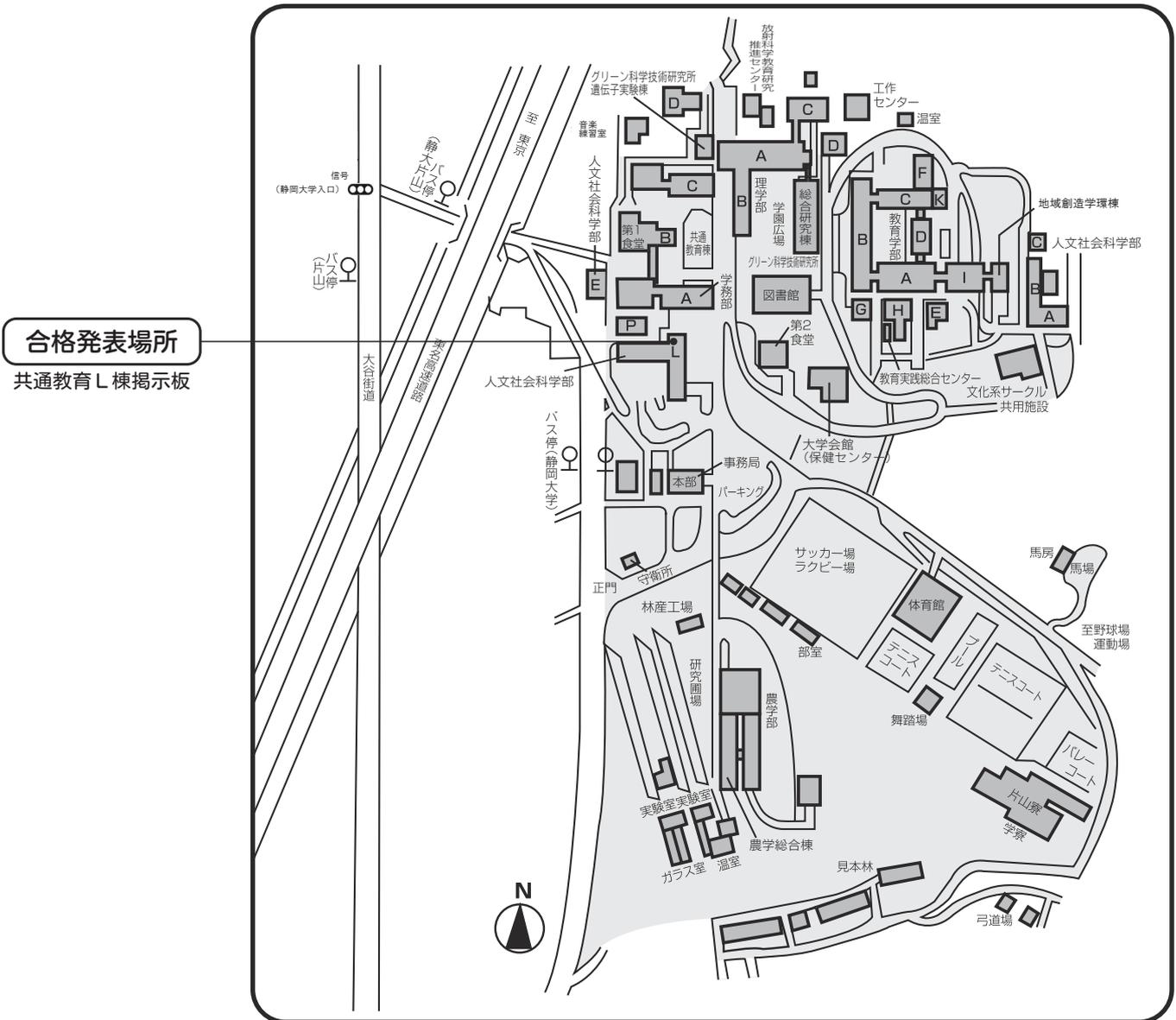
静岡大学静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・地域創造学環



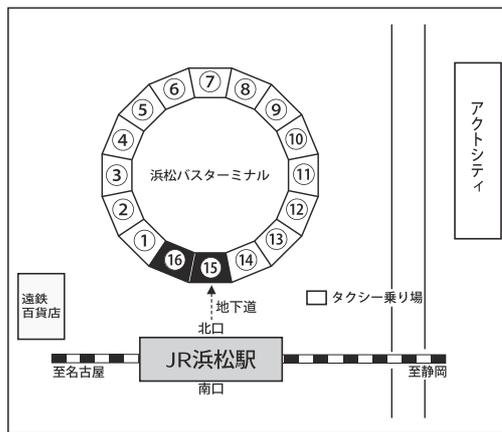
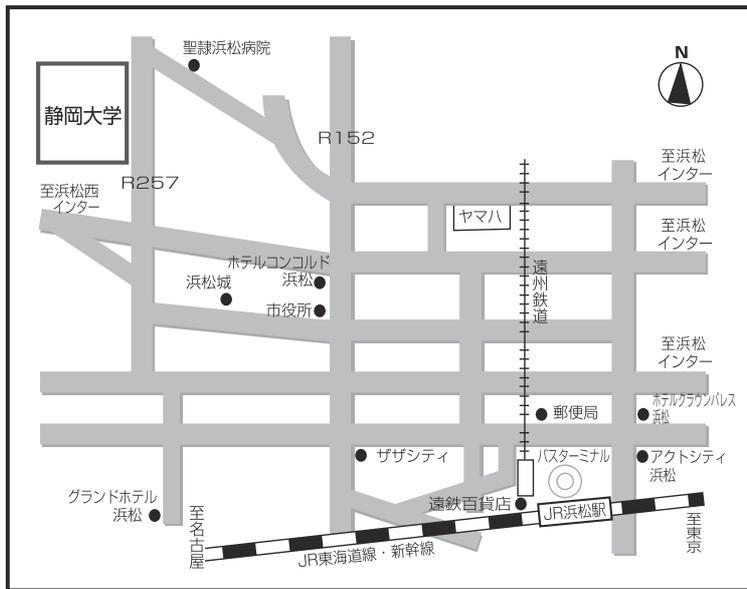
■静岡キャンパスへの交通案内

1. JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス8番B乗り場(静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地球環境史ミュージアム行き)に乗りし「静岡大学」または「片山」下車(所要時間約30分)
2. JR静岡駅からタクシーで約20分



静岡大学浜松キャンパス

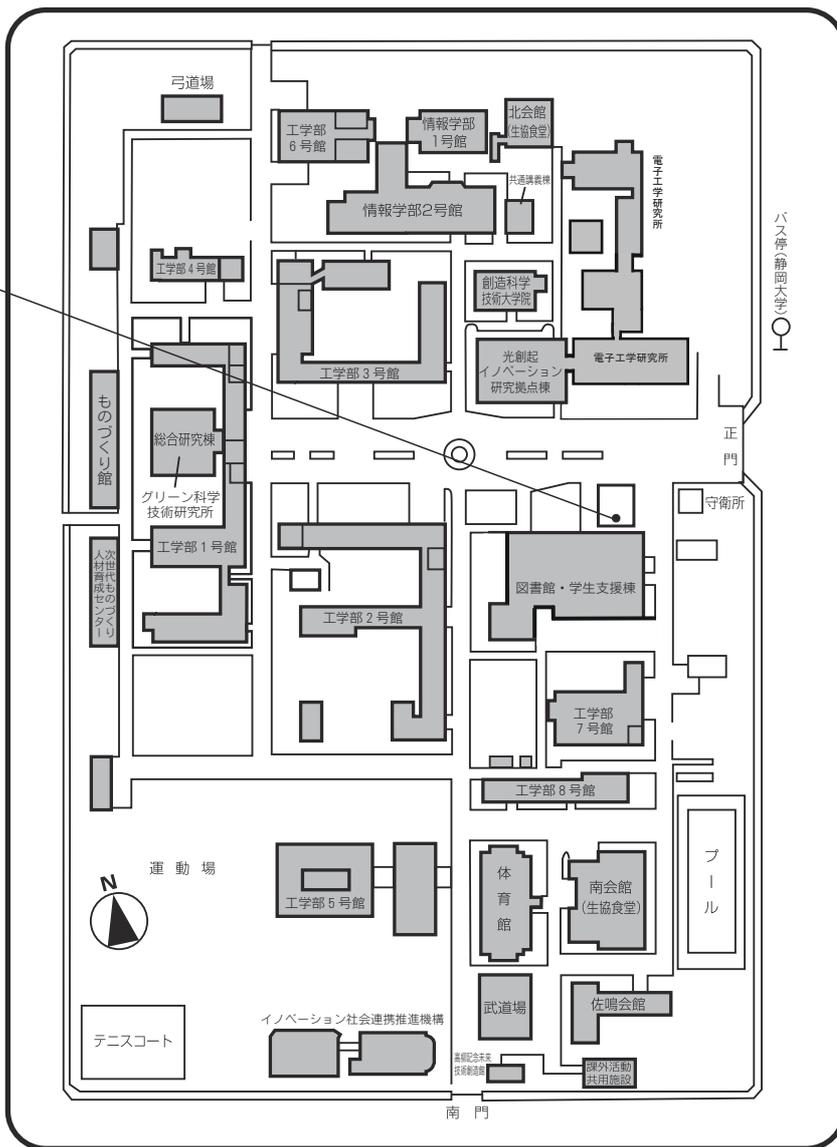
情報学部・工学部



■浜松キャンパスへの交通案内

1. JR浜松駅前北口バスターミナルから遠州鉄道バス15番または16番乗り場（気賀・三ヶ日・奥山行き等全路線）に乗車し「静岡大学」下車（所要時間約20分）
2. JR浜松駅からタクシーで約15分

合格発表場所
学生支援棟玄関前



☆ 入学手続（概要）

入学手続方法		入学手続は、原則として郵送「書留速達」とします。 合格者には『合格通知書』とともに『入学手続要項』を送付します。 入学手続は、『入学手続要項』に従って行ってください。
手続期限	前期日程	令和4年3月14日（月）
	後期日程	令和4年3月25日（金）
納付金の納入	入 学 料	282,000 円
	授 業 料 〔令和3年度実績額〕	半期分 267,900 円 （年 額 535,800 円）
【注】		<ol style="list-style-type: none"> 1 前期分の授業料については、令和4年4月1日から同年4月30日までに納入してください。 2 入学料はいかなる理由があっても返還しません。 3 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。 4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
留 意 事 項		<ol style="list-style-type: none"> 1 入学手続の際は、『大学入学共通テスト受験票』が必要となります。 2 特別な事情のある人で、上記の入学手続期限までに入学手続きができない場合は、前期日程は3月15日、後期日程は3月26日に手続きを認める場合があります。 3 上記の入学手続期限までに入学手続きを完了しない者は、入学辞退者として取扱います。 4 一つの国公立大学に入学手続きを行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続きを行うことはできません。

《 ノート型パーソナルコンピュータの共同購入について 》

次の学部・学科等では、パーソナルコンピュータの利用が必須となりますので、入学時に学部・学科等毎に、同一機種（下記予定価格、ソフトを含む）の共同購入を推奨しています。

詳細は、合格者に連絡しますが、予めご案内します。（問い合わせは、各学部までお願いします。）

○情報学部 19万円程度

○理学部 生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース 15～18万円程度

○工学部 18万円程度

☆ 入学試験情報の提供

1. インターネット

[学部入試URL] <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

2. 入試情報の開示

静岡大学には、入試情報開示制度があります。令和4年度入学試験成績等のうち、個人の試験成績の開示申請は、インターネット出願と同時にインターネット上で受け付けます。

また、令和4年5月10日（火）から6月30日（木）までは窓口または郵送で受け付けます。この期間に入学試験成績等の開示申請を行う場合には、**本学受験票及び本人確認ができる証明書等（大学入学共通テスト受験票等）**が必要となります。

詳細は、入試課までお問い合わせください。

☆ 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
2. （総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜に限ります。）
国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
4. 上記1.及び3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。

☆ 安全保障輸出管理

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営 > 静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

☆ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う配慮

新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への配慮として、以下のとおり対応します。なお、今後の感染状況によっては、募集要項に掲載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することもあります。変更する場合には、本学学部入試ウェブサイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>) に掲載しますので、ご確認ください。

1 選抜方法等

教育学部学校教育教員養成課程教科教育学専攻音楽教育専修の実技試験の実施にあたって、感染症の拡大状況によっては、実施方法を変更することがあります。詳細は、67ページを確認ください。

2 追試験の実施

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験当日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者、また発熱・咳等の症状があり、一般選抜を1科目でも受験できなかった入学志願者の受験機会を確保するため、追試験を実施します。

ア 日程等

- 選抜期日
前期日程・後期日程とも、本学試験場での試験は実施しません。
- 合格発表日
前期日程・後期日程とも、令和4年3月26日（土）

イ 実施教科・科目等

- 大学入学共通テスト
利用教科・科目とその配点は、本試験と同一です。
- 個別学力検査
・大学入学共通テストの一部の成績を利用等する学部・学科等については88ページを確認ください。
・88ページに記載のない学部・学科等は、個別学力検査を実施せず、大学入学共通テストの成績のみ利用します。

ウ 合格者の入学手続

本学または他の国公立大学に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して他の国公立大学へ入学手続をとることは原則認められませんが、今年度に限り、一般選抜の追試験の合格者はこの限りではありません。

エ その他

申請期間等詳細は、本学学部入試ウェブサイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>) に掲載します。

追試験実施教科・科目

【前期日程】

学部等	学科・課程等 (選抜区分・方法)	②個別学力検査等の教科・科目										配点 合計	配点 総合計
		①大学入学共通テストで 受験が必要な教科・ 科目 (本試験と同じ)		●筆記試験, 面接, 実技等		●個別学力検査等に代えて利用する 大学入学共通テストの教科・科目 (①の共通テストの配点とは別に、以下の共通テストの 科目について、それぞれの満点を表記の配点に換算して 加点します。)							
		科目	配点 合計	科目	配点	科目	配点	科目	配点	科目	配点		
情報学部	情報科学科	5教科7科目	600	—	—	数学	150×2	外国語※1	250			550	1150
	情報社会学科	6(5)教科7科目	850	—	—	国語	200	外国語※1	200			400	1250
	行動情報学科(選抜区分A)	5教科7科目	900	—	—	国語	100	数学	50×2	外国語※1	200	400	1300
	行動情報学科(選抜区分B)	6(5)教科7科目	900	—	—	国語	100	数学	50×2	外国語※1	200	400	1300
理学部	数学科	5教科7科目	900	—	—	数学	200×2	理科※2	200			600	1500
	物理学科	5教科7科目	900	—	—	数学	100×2	物理※3	200			400	1300
	化学科	5教科7科目	900	—	—	数学	50×2	化学※3	300			400	1300
	生物科学科	5教科7科目	900	—	—	数学	100×2	生物※3	300			500	1400
	地球科学科	5教科7科目	900	—	—	数学	100×2	理科※2	300			500	1400
	創造理学(グローバル人材育成) コース	5教科7科目	550	—	—	数学	50×2	理科※2	100			200	750
工学部	機械工学科	5教科7科目	700	—	—	物理	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	電気電子工学科	5教科7科目	700	—	—	物理	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	電子物質科学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	化学バイオ工学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	数理システム工学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200

- ※1 「外国語」の『英語』は「リスニング」を含みます。「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を、各学科が利用する配点に換算します。
 ※2 本学への出願時に個別学力検査科目として選択した科目とします。共通テストで当該科目を受験していない場合は、理科②の第1解答科目を採用します。
 ※3 共通テストで当該科目を受験していない場合は、理科②の第1解答科目を採用します。
 ※4 『英語』は「リスニング」を除きます。

【後期日程】

学部等	学科・課程等	②個別学力検査等の教科・科目										配点 合計	配点 総合計
		①大学入学共通テストで 受験が必要な教科・ 科目 (本試験と同じ)		●筆記試験, 面接, 実技等		●個別学力検査等に代えて利用する 大学入学共通テストの教科・科目 (①の共通テストの配点とは別に、以下の共通テストの 科目について、それぞれの満点を表記の配点に換算して 加点します。)							
		科目	配点 合計	科目	配点	科目	配点	科目	配点	科目	配点		
情報学部	情報科学科	5教科7科目	850	—	—	数学	200×2					400	1250
	情報社会学科	6(5)教科7科目	700	—	—	外国語※1	500					500	1200
	行動情報学科	6(5)教科7科目	900	—	—	外国語※1	400					400	1300
理学部	数学科	5教科7科目	900	調査書※5	100	数学	200×2					500	1400
	物理学科	5教科7科目	900	調査書※5	100	物理※3	400					500	1400
	化学科	5教科7科目	900	—	—	国語	100	化学※3	300			400	1300
	生物科学科	5教科7科目	900	調査書※5	100	理科※2	300					400	1300
	地球科学科	5教科7科目	900	—	—	国語	200					200	1100
	創造理学(グローバル人材育成) コース	5教科7科目	550	調査書※5	100	数学・理科から1※2	200					300	850
工学部	機械工学科	5教科7科目	700	—	—	物理	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	電気電子工学科	5教科7科目	700	—	—	物理	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	電子物質科学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	化学バイオ工学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200
	数理システム工学科	5教科7科目	700	—	—	理科※2	200	数学	100×2	英語※4	100	500	1200

- ※1 「外国語」の『英語』は「リスニング」を含みます。「外国語」は200点満点(『英語』を選択した場合、「リーディング」を150点満点、「リスニング」を50点満点、「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算)を、各学科が利用する配点に換算します。
 ※2 本学への出願時に個別学力検査科目として選択した科目とします。共通テストで当該科目を受験していない場合は、理科②の第1解答科目を採用します。
 ※3 『数学』を選択した場合の配点は、100×2とします。
 ※4 共通テストで当該科目を受験していない場合は、理科②の第1解答科目を採用します。
 ※5 『英語』は「リスニング」を除きます。
 ※6 高等学校卒業程度認定試験合格による志願や、その他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては、調査書代替資料で評価します。

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

- ・お知らせ
- ・出願状況, 合格発表
- ・募集要項等請求
- ・オープンキャンパス, 説明会 など



<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

入学試験に関する問い合わせ先

必ず、受験生本人が照会するようにしてください。〔土曜日、日曜日及び祝(休)日は受け付けません。〕

対象	担当部局	所在地	電話番号
人文社会科学部	人文社会科学部 学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4217, 4485
教育学部	教育学部 学務係		054-238-4580, 4579
理学部	理学部 学務係		054-238-4861
農学部	農学部 学務係		054-238-4815, 4816
地域創造学環 (教育プログラム)	地域創造学環係		054-238-4311, 4315
情報学部	情報学部 教務係	〒432-8561	053-478-1510, 1511
工学部	工学部 教務係	浜松市中区城北三丁目5番1号	053-478-1010
概要	入試課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464, 4465